愛國婦人

DECEMBER 1.1911.　明治四十四年十二月一日發行

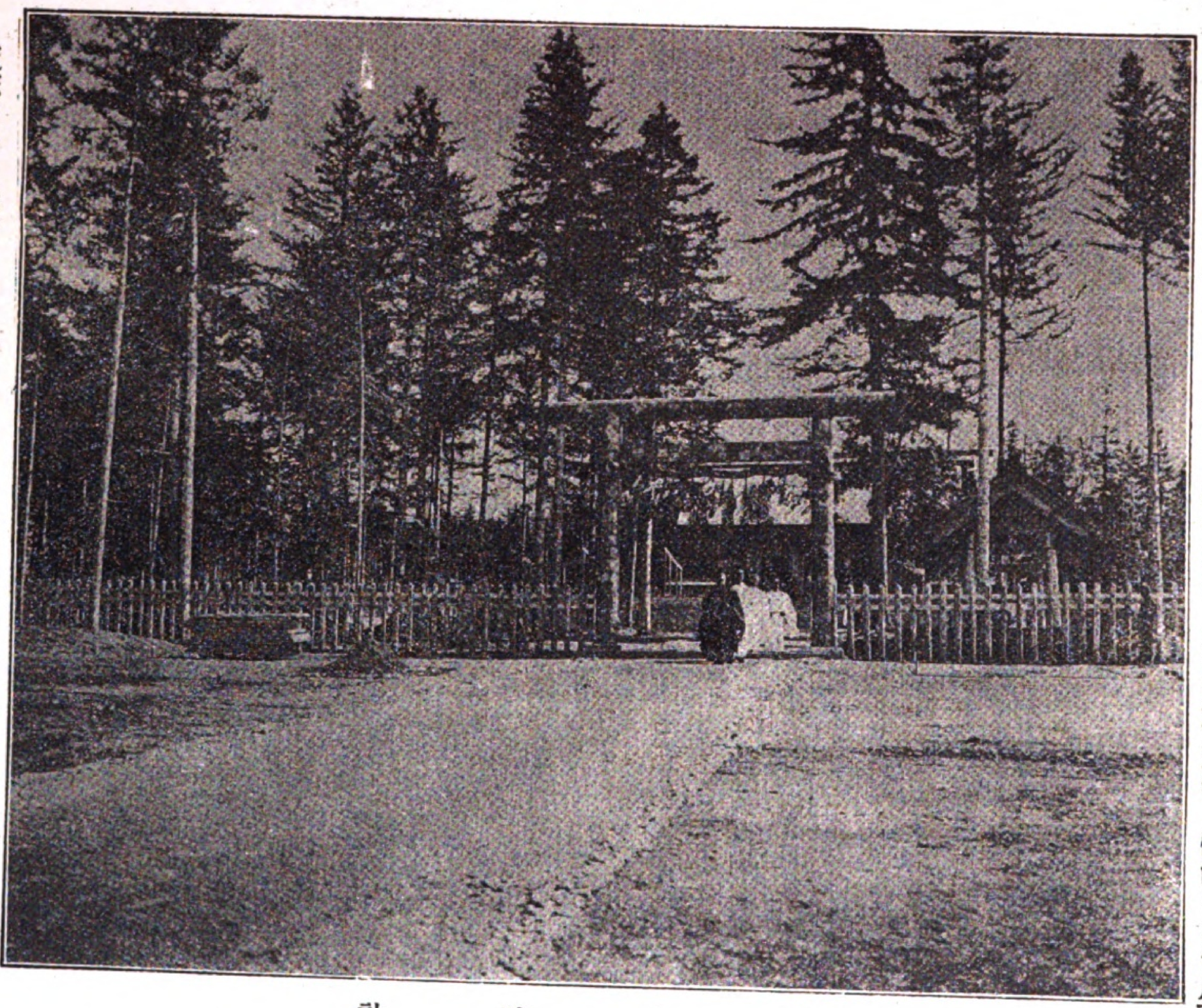
創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年四月廿七日第三種郵便物認可●每月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●郵送無料●振替貯金口座東京壹壹弐一番

半年分金四十二錢●定價一部三錢五厘●廣告料一行金六十錢●一年分金八十四錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

會員諸姉に警告す

月日の流るゝは矢よりも速く、何時しかに四十四年もはや極月とはなりぬ。然るにわが會員諸姉に對して、玆に少しく警告したき事柄起れり、そは外の事にもあざられど、かの清國北京に於ける外交團は現下の形勢に鑑み、此際同地に於ける各國の駐屯兵を増加すべきことを議決し、我が國にても取り敢ず先づ名古屋第三師團中より歩兵並に機關隊若干名を編成して派遣すべく　陛下の御裁下を得て陸軍大臣より命令せられたる事なり。勿論今回の出兵は在清國の帝國公使館及び帝國々民の生命財産を自衞し、萬一の粗漏なからしむるを目的とするものにして其の兵力限度は北清事變後の員數に準じ其の範圍の程度に止めらるゝ由なれども併し清國の現狀は湖南に於ける革命軍の蜂起以來、四百餘州は恰も蜂の巢をつゝきたりとも云ふべき有樣にて、到る所に騷擾の起らざる山河無く、且つ長江一帶の所謂支那本部の如きは殆んど全部革命軍の爲めに確實に占領され、首都北京に於てさへも已に愛親覺羅氏の威嚴全く地に墜ちて無政府の狀態を來たし　皇帝蒙塵説さへ早くも頻りに傳へらるゝが如き混沌險惡の有樣なれば、今後如何に風雲が推移すべきやも素より測るべからず、又何日何時如何なる事柄の起り守備兵諸氏の銃と劍とに血ぬりて、吾が皇國の尊嚴を保ち、我が國民の身命財産を護らればならぬ事とならずとも言はれず、若し萬一不幸にも斯の如き場合に立ち至らむか、わが會得意の舞臺は已に開かれたるなり、女性的大和魂の權化たる八十萬會員に依りて組織せらるゝわが愛國婦人會が、日露戰役によりて得たる充分の經驗と、過去約十ケ年の平和時代に養成し來りたる潜勢力とを發揮して、定められたる軍人後援の大使命に服し勇奮努力すべきは實に此秋と云はざるべからず。

惟ふに北清の二文字、實にわが會に對して因緣の淺からざるものあり、愛國婦人會趣意書中に曰く『抑も我が帝國嚮に征淸の役あり、去夏復た兵を北淸に出しゝに、忠勇義烈なる軍人は命を鴻毛の輕きに比して、雨なす彈丸の下に身を拋ち劍なす氷の床に夜を守り、名譽の戰死を遂げ、不起の床に罹り、異域の鬼となりたる者果してそれ幾ばくぞ』と、回顧すれば、明治三十三年、楓色どる十月下旬故奥村五百子刀自は、海を渡り、血を踏み、屍を踰えて遠く北淸に入り、親しく戰地の實況と軍隊の勞苦とを視察し、歸るに及びて切に其の遺族救護の方法を講じ、軍人達に後顧の憂なからしめ、愈々皇國の光輝を放たしめんとし、半襟一掛を叫びて、東に走り西に驅け、遂に今日の愛國婦人會を創設せられたるなり、噫北淸と愛國婦人會と、何ぞそれ因緣の深かき。



樺太神社

淸國上下の混沌彼の如く、革命軍の意氣も亦曩の義和團匪より數等優れたるものあり、且つ今日まで外人の生命財産に危害の加へられたる事尠しとは云へ、時勢は如何に急轉直下すべきや測るべからす、ましてや東洋の平和を支持する事が吾が大日本帝國の一大使命たるを自覺するわれ等の胸臆には、北淸駐屯兵今回の增加に依り、倏忽大なる覺悟と準備とを警告せらるゝ事深きを思ゆ。

年々の會員總會に、畏くも　國母陛下の行啓を忝ふし、優渥なる　令旨を賜ひ、無上の光榮に浴しつゝあるわが愛國婦人會が國家有事の日に於ける使命は已に定まりたるものあるも、冀くは會員諸姉互に愛國的精神を弘く鼓吹して、特に會運の發展を圖り、非常に備へんことを期せられたし。玆に感ずる儘に少しく警告し、併せて時下益々自重せられんことを祈る。

本號主要目次

▲會員諸姉に警告す
▲婦人の勤勞（二）……中川女子高等師範學校長
▲敎育に關する勅語……秦政二郎
▲離婚の研究（下）……永井早大敎授
▲腹式呼吸の話（三）……二木博士
▲戰國時代の女（下）……岡部學士
▲洋服を保つに付ての注意……井上女子大學敎授
▲箏曲評釋松の下風……池邊京大講師
▲應募家庭敎育兒實驗談
▼時事解說
▲講談貞女の一念……貞水
▼其他正月の料理、和歌、雜錄等
●外に愛國婦人會々報二頁
▼挿畫……岡落葉

●本紙（附錄共）十六ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人の勞働（三）

（愛國婦人會樓上にて）

中川謙二郎

各國々力比較表

殖民地面積（方哩）

國	面積
日	一一三、〇〇〇
米	九六五、〇〇〇
獨	一、〇三三、〇〇〇
佛	四、〇〇〇、〇〇〇
露	四、八九三、〇〇〇
英	一一、四八〇、〇〇〇

貿易輸出入額（千圓）

國	輸出	輸入
日	四一三、一一二	三九四、一九八
露	一、一〇五、六五〇	八八九、七七〇
佛	二、五七六、六二〇	二、七九四、六一〇
米	三、三一五、八六六	二、五四〇、一二二
獨	三、一五三、二二二	三、九三〇、二八六
英	四、五五[illegible]、三一七	六、〇七三、〇二六

鐵産額（英噸）

國	産額
日	五四、一二四
露	二、七七三、〇〇〇
佛	三、五七三、九九一
英	四、八四七、四四八
獨	一二、八四九、一五六
米	一五、九六三、〇一八

石炭産額（英噸）

國	産額
日	一五、〇四八、一一三
露	二四、五三七、〇〇〇
佛	三五、二五二、八六〇
獨	二一一、八四一、七六七
英	二六一、五二八、七九五
米	三六三、二二四、二三四

鐵道延長線（哩）

國	延長
日	五、四一八
英	二三、二〇五
佛	三〇、〇二八
獨	三六、二〇〇
露	四四、五九五
米	二三二、〇四六

商船

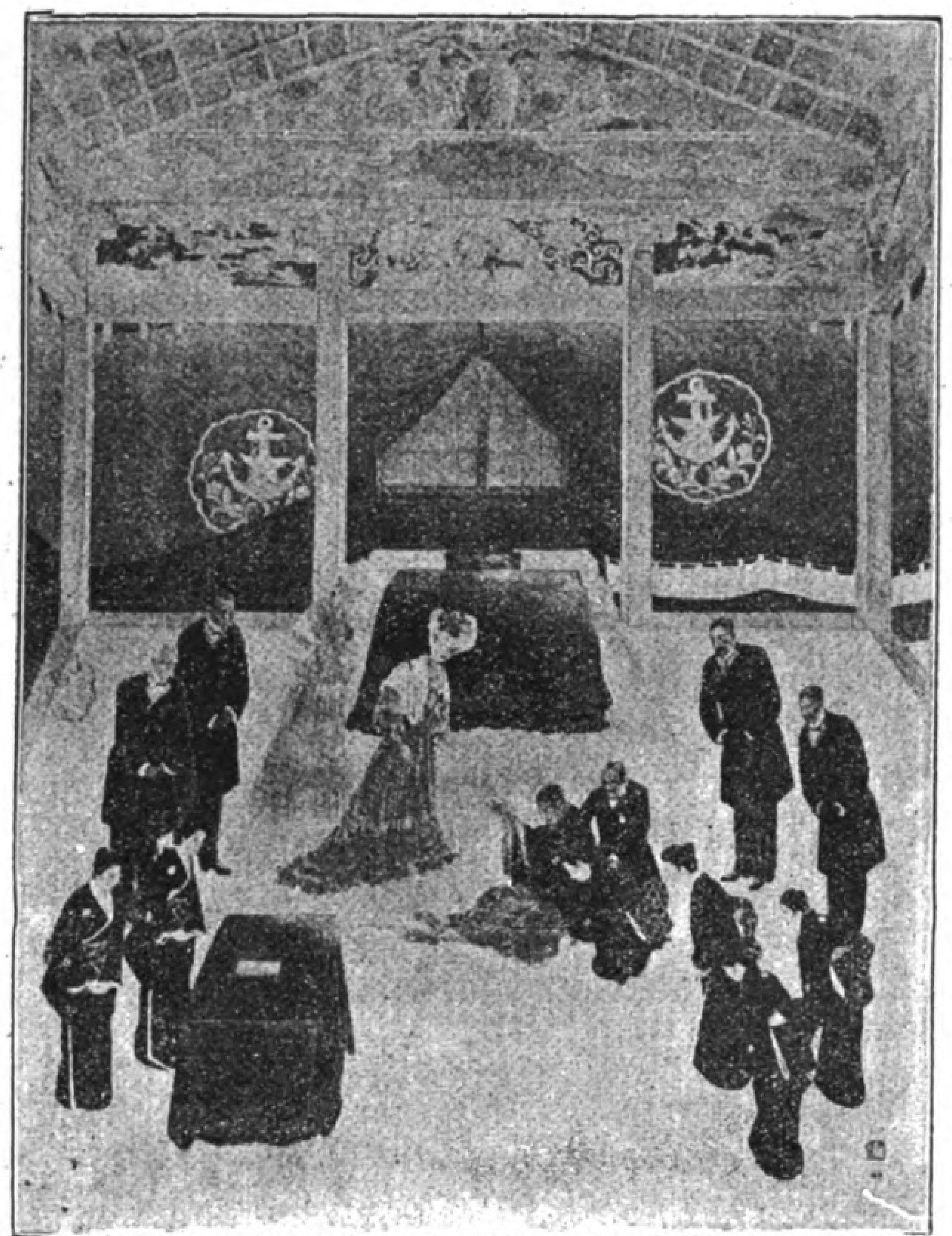
國	隻數	噸數
露	三、三六三隻	七〇〇、九五九噸
日	六、一三三	一、〇七七、三九四
佛	一七、三七六	一、四五二、四九五
獨	四、六三八	二、八二五、四〇四
米	二一、三五三	六、四六〇、三〇〇
英	二一、一六八	一一、五四一、三九四

▲記者申す　中川氏は各國々力比較圖を揭げ之に就て詳細演述せられたるも玆には印刷の都合上止むを得す數字上の比較のみを揭ぐる事となしたり。

此表に由つて見ますれば、先づ第一に比較してあるのは殖民地の面積でありますが、我國が有する殖民地の面積は憐む可く狭小なるものでありまして、之を英國に比べますれば僅に其の百分の一弱、五國中最も殖民地の尠い米國の八分の一弱に過ぎません。

第二は貿易額の比較であります。我國の外國貿易は日露戰爭後急に發展しまして、現今では一ケ月の輸出入額共に各約四億圓に達して居りますが、矢張り他の強國と比較すれば實に憫然たるものであります。且つ現在では輸出と輸入とが互に稍々平均を保ち月に依りては出超數百萬圓を見ることがあるとは云ふもの〻、往々外國からの輸入額が多額に上り、爲に內地の正貨が外國に流れ出づるといふやうな好ましからぬ現象が生じて居るのであります。

第三は鐵の産額の比較であります。國の生産には數多の種類がありますのに此處には何故鐵の産額を擧げたかと申すと、鐵は實に今日の文明の要素として最も重視せらる〻鑛物でありまして、武器は勿論、苟も文明の利器と稱せらる〻物品の大部分は悉く皆鐵を原料として製作されるのであります。故に鐵の産額及其使用額は國の文化の程度を測るメートルであると云はれる位でありまして、兎に角、鐵の産額が多く、且つ之を自由に使用し得る國民は優等國民であり、鐵の産額と使用の技倆に於て劣る國民は總ての點に於て劣る國民と見做されても致し方は無いのであります。然るに、我國は其の鐵の産額に於ても亦頗る悲む可き狀態に在りまして、日本全國が悉く鐵より成り立つとしても尚大きなものではないのに、僅に全國所々に小鐵坑が散在する丈でありますので、其産額は非常に少額で、鐵に於て我國は絕對に獨立する事が出來ません、今日九州に在る我國唯一の製鐵所に使用される鐵の原料は、其の大部分を清國から輸入して居ると申ことであります。



前年靜岡支部總會の際　總裁殿下より特別救護金を賜はる

第四は石炭であります。私共が福岡縣下の門司に上陸し一歩を九州の地に踏み入れて、第一に驚かされるのは石炭の夥しい事であります。九州鐵道沿線の土地は石炭の爲に黒く見ゆるやうに感じます到る所に燃されて居る石炭の光は夜を晝の如く輝かし、吐く煙も積みし荷物も皆悉く漆黒の石炭運搬の專用汽車はさも忙はし氣に港と炭坑との間を往復して居ります。實に九州を旅行する旅人の眼には、日本全國が總て之れ石炭國で〻もあるかのやうに映ずるのであります。北海道にも亦多量に石炭を産出します特に満洲に在撫順炭坑の如きは世界に於ても稀なる大炭脈を有して居るのであります。兎に角、我國の九州並北海道は米國の一部分と共に、世界に於ける石炭の二大産地と稱されて居る程で其の産額の一部は外國迄も輸出されて居る位でありますが、併し其産額を比較しますれば、尚露國の生産額の約三分の二佛國の約三分の一に止まり、米國は我國の約二十五倍に相當する生産額を有して居るのであります。

上圖に於て特別救護金を拜受せし廢兵新村安吉と廢兵用自由車

第五は交通機關、即ち鐵道線路の延長の比較でありますが、交通機關が國の文明進歩の上に奈何に顯著なる効果を與えるものであるかは明瞭なる事柄でありますから、茲に比較を致したのでありましやう。我國の鐵道の延長は現在五千哩强でありまして、我國としては稍發達の見るべきものがあるやうでありますが、之を他の强國と數字上で比較しますれば、之も亦英國の五分の一强、佛國の約六分の一、獨乙の七分の一弱に過ぎません。

最後は商船の比較でありますが、之のみは少しく見るべきものがあります。前述の如く、內に顧みて我國の一等國たる所以を見ますると、お互に耻かしく嘆はしき事のみが多いのであります。斯く申すと、頭腦の古い人達の中には、日本は石炭や鐵で戰に勝つたのではない大和魂と云ふものがあるので勝つたのである、此の大和魂さへあれば何事でも出來ぬことはない、我日本人は我國民獨特の此の大和魂といふ精神があるから、何も鐵や石炭の産額等が尠い位のことは少しも恐る〻に足らぬのである。と云ふ人がありましやうが、併し乍ら、此の大和魂と云ふものは、物を用ゐる力でありまして、物其者ではありません、如何に大和魂があつても鐵が無く、鐵砲が無く、軍艦が無く、彈丸が無くては戰爭は出來ません、兎に角、精神上に於て世界の何の國民よりも秀て〻居る日本人は、一面に於て此精神即ち大和魂に使用させる物を充分に持ねば駄目である。要するに商工業が盛大に發達して、資金を豐富ならしめ、相當の武備を整ふると同時に、國民一般の幸福を增進せねばならぬのであります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育に關する 勅語 (二)

秦　政二郎謹解

恭儉己レヲ持シ

この勅諭は人に恭儉の德が無いと決して自己の身を安全に保持つことが可能ぬから如何なる身分の者でも皆各自に物事を度しみ恭しく禮儀を守り又克く其の職分を勤めて萬事約やかにし必ず分限を越えぬやうにせよとの聖意と推し量り奉るのであります。

元來恭儉の二字は虔恭勤儉の四字を切めた勅語と察し奉るが、虔恭とは心身共に愼しんで禮儀を紊らず驕慢の言行なくして忠實に物事を爲すこと、勤儉とは克く職分を勤勉めて無益の費を節儉にすること。然るに虔恭を誤つて巧言令色足恭したり何事をも勤勉めずに只吝嗇ばかりを事として出すべきにも出さず或は下に傲慢て自己の慾望には浪費するやうな者があります。此れ等の輩は實に動物にも劣つた者で文明の國民ではあませぬ吾人は誰でも生れながらにして貴賤尊卑は無いもので華族の子も貧民の子も生れた時は裸體であるが成長の後の心得一つで貴賤貧富の差が出來ます、別して恭儉の德を高くし自己の行を反省へて禮儀に缺けぬやう愼しみ克く勤むべきを勉めて無益の費を節儉にするならば自然と其の身の幸福となり立身成功も出來て人から尊敬せられるやうになるが驕奢つたり勝手な事をすれば必ず社會から爪彈をせられます。

世には種々な人があつて中には少しの家產を有つて只管之れに縋り、食ふべきものも衣るべきものも吝んで只貯蓄ることばかりを樂しみ慈善の心などは露ほども無くて、出すべき租稅をさへ滯らせ又事業に勤勉めて家產を增殖すといふ念もなく穴熊の如くに同類と噬み合うてまでも貯めて置いて何時か外のものに取られるをも知らず、俗に云ふ爪で火を燈すやうな生活をして質」儉約であると思ふ者も多いけれども斯樣な人は實に人間と生れた甲斐の無い人であります。要之人は禮儀にも衞生にも適うた衣食をして勤勉める事は克く勤勉め休み遊ぶべき時は克く休み遊んで、而も無益の費は嚴重に節儉し、出すべき事は人に後れずして出し、常に餘裕を貯へて置いて、國家の爲め社會の爲め又は慈善博愛の爲めには身分相當の事を吝まないやうにするのが此の聖旨に適ふのであらうと思ひます。それ故若しも恭儉の德が修まらぬ人は如何しても一人前の獨立をして己れを持することが可能ませぬ。

さて昔から虔恭勤儉の模範ともいふべき人は數多ありますが菅公の如に神とも崇めらるゝ仁は又格別で少壯時代から禮儀が正しく克く勤勉めて費用を節儉し後に大臣となつても益々恭儉で自奉は萬事切約で國家の爲や國民の爲ばかり盡されました。尤も菅公に限らず心に誠ある人は皆恭儉の德が高くなりますが心に實の無い人は空罐のやうに內實が無いから外見を衒飾うて充實らしくするもので、學者ならば大家のやうに威張り商人ならば富豪のやうに見せるから諺に空しきものは大音を發すというてあります。この恭と儉とは共に離れられぬ關係があつて克く物事を虔しみ禮儀を守つて勤勉め勵み而も無益の費を省いて貯蓄へ、出すべき事には吝まず出す人は自然と身分不相應な驕奢もせぬから儉約になり又贅澤浪費もせぬ人は風儀も亂れぬから身を持ち崩すやうな事もありませぬ。

皇后陛下の御歌に

くれ竹のほどよき節を違へずば
　末葉の露もみだれざらまし

と仰せられ　又道歌にも(稻に譬へて)

ゆたかなる心は覚に穗にいでて
　みのるまに〳〵頭をばさぐ

とあります。此の外昔の賢哲の誨にも「らしくせよ」とか「ねばならぬ」とかいうてあるが眞に其の通りで學者は學者らしくあらねばならず商人は商人らしくせねばならず親は親らしく子は子らしく身のほど〳〵に恭儉の德が無ければ人たるの資格が備はりませぬ。(つゞく)

離婚の研究 (下)

早稻田大學教授　永井柳太郎

六

然かしこの思想の衝突は、前述の如く時代の生んだもので强ち舅姑の罪といふことも出來なければまた花嫁の罪といふことも出來ないけれども如何に時代の生んだものであるからと云つて、それが社會に害毒を流しつゝある以上、吾等は其儘に放任して置くことは出來ぬのであります。蓋し離婚は人生に於ける悲劇の最大なるもので、これがため婦人のみならず、また男子の一生をも誤るのである。況んや離婚せらるゝ婦人にして、すでに子供を持つてゐる場合の如き、その子供に及ぼす不幸は一通りならざるべく、彼等は孤兒となるか、または繼母の手中に落つるか、孰れにしても不遇の中其の生涯を果つることゝなるのである。此等の事實を考へて見れば如何に氣性の合はぬ間柄でも離婚をするといふことは非常に愼むべきことで、それがする者にとつても、またせらるゝ者にとつても屢思はぬ不幸の基となるのであります。然らば何うしてこの思想の衝突を豫防することが出來るか。

七

私思ふに二策ある。第一は新夫婦の別居であります。前述の如く親子が一家に同居して朝夕に相慰むるのは日本の美風で、これを維持するの願はしきは勿論なりと雖も、其親の思想と其子の思想とが著敷く懸隔して、その同居することが衝突の原因となるやうな場合には、一時的の方便として西洋流に新夫婦が別居して水入らずの家庭を作るが一番である　然かし我國民の多數は、まだ生活の程度が極低く、上流の者なら格別、普通の人民が別居して生活するといふやうなことは困難であるから、第二策として結婚の前、豫め其姑たるべき、婦人と其嫁たるべき婦人との中、誰が其家の主婦となるべきかを決定し置き、その主婦たる者に家政の全權を委任するも、亦可なりと思ふ。私が倫敦の或家に客となつてゐた時嘗てこんなことがあつて、其家では每年のクリスマスに主人の兩親を招て色々の饗應をするのが慣例となつてゐるさうで、私のゐた其年のクリスマスにも老夫婦は一週間ばかり泊掛けに遊びに來てゐた然るに或晚、何事が原因であつたかは今能く記憶せぬが、とに角其の老母と主人の妻君との間に口論が起つた　その時其の主人が老母に向つて注意した言葉が面白い。曰く「御母さん、一國に二王なき如く、一家に二人の女王あるべからず家內のことは彼女に御委かしなさい」

八

英國は世界の中最も離婚を愼む國柄で
(イ)配偶者が他人と姦通したる場合
(ロ)配偶者が二箇年以上家出したる場合
(ハ)配偶者より堪へ難き侮辱を受けたる場合
の外、何んなことがあつても離婚は許可しません。これは天上に於て上帝の一度び結びたまへる緣は地上に於て人猥りにこれを斷つべからずといふ英人の信仰から出たもので、洵に感服すべき美風であると思ひます。然るに我國に於ては結婚る見ること、恰かも商人の取引の如く、昨日輿入れをした花嫁でも、その氣性に合はなければ、恰かも買氣の乘らぬ商品の見本を突返すやうに放逐するのであるこれほど殘酷な　そして野蠻なことがあらふか！吾等は日本人が結婚の神聖といふことに就て今少く考へ深くそしてその一度び結ばれたる緣組を解放つといふことは人生の最大なる悲劇であることを自覺せんことを希望するのであります(完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衛生講話

腹式呼吸の話（四）

醫學博士　二木謙三

兎角吾々の下腹には何日でも充分に力が滿ち〳〵て居なければなりません。俗に腹皮と脊骨とくつ付いたやうと云ふ樣になるのは下腹に力がないからであります。さういふ風になると何時も元氣が衰へて居ります。下腹の張つておいでの方は何時も元氣が旺盛であります。下腹に力があると下腹が出て參つて外から押へて見ると大變に堅い、之れを腹の力と申しまして、むづかしい言葉で申しますれば腹部の壓力、それを約めて腹壓とも名付けます。此腹壓がなか〳〵大切のことになる。又それから現はれる結果の一例を擧げますれば、血の循環を助けるといふことになる。兎角御婦人方の病氣は、昔の言葉で疝氣とか血の道とか申しました、其血の道といふのは殆んど御婦人の病氣の總稱である如くいつて居ります。成るほど人間の體は血の循環が一分間でも逆になるか狂ひでもすれば病氣になるに決つて居る。此血のお蔭で五臟六腑が能く働いて居るのであります。ところが下腹に力があると、血の循環が惡くならぬ理窟があるのであります。それはどういふ譯かといふと、血は心臟から出て參ります。心臟といふのは丁度横隔膜の上にありまして、ポンプのやうな働きをするもので、其働きは極く弱いものであります。其心臟が胸の上にあつて、それから血液を追出してズツト下の方に送るのでありまして、其追出されて行つた血液は、重さに從つて下るのが得意であります。さて、どうして其血液が再び心臟へ歸るのでありませうか、之を研究して參る時には、成るほど腹に力が入つ居なければ不可ものであるといふことがお分りになります。それで此模型は人間の血管の模樣を拵らへたものでありますが之に依つて說明を致さうと思ひます。（模型に就て說明す）之の模型を見ると、成るほど腹に血が溜るから、血の循環が惡くなるといふことが分る、然らば、腹には通常どれ位の血が這入つて居るものであるかと申しますと、人間の身體の大小に依つて違ひますが、私の身體でいひますと二升しかない。其二升の血の內一升だけ腹にある譯でなつて居り、あとの一升の中の半分の五合は、手足其他の筋肉の中へ這つて仕舞ひます。そうでありますから、筋肉といふ物は眞つ赤な物であります。それから、あとの五合で何所々々を養ふかといふと、皮膚であるとか、神經であるとか、腦髓であるとか、脊髓であるとかを養はなければならぬ。それで、腹の方には血が一升這入つて居て、神經や皮膚や腦、脊髓といふ方には、僅かに五合しか行かぬ理窟になつて居る。ところで若し腹の力が緩んで、腹の方に血が一升以上に多くなると、外は血が少くなる理窟であります。それだから眩暈も致しますれば、早く疲勞も致すのであります。そこで血の循環を良くするには外に方法はない。血の分量には決りがあるのに何所にか溜つて居る所があるからいけないといふのであります。其溜つて居る所を何處か押へ付けて溜らぬやうにすれば其血が能く循環るやうになる。それで血を能く循環らせるといふのは、溜つて居る血を散じさせればよいのであります。例へば、肩の凝る時は按摩が來て、どうも此處に血が澤山寄つて居ります、是は血の寄りでございますといつて揉みますと解れて血の循環が良くなるのであります。それで一番血の澤山溜る處は何所かと申しますと、手に溜つた所で、足に溜つた所で知れたものであるが、お腹の中に溜る量は大きなものであります、即ちお腹は伸縮の自由な腔でありますから、例へば茶飲茶碗で一杯位の湯を飲んでもお腹が張つたとも思はぬやうな譯で、血が溜つても同じであります。其溜つて居る血が惡い血でありますから、それを能く循環しますれば全身に良い働きをするのであります、それ故に其溜つて居る血を追出さなければならぬ。それでは、どうしたら腹に溜つて居る血を追出すことが出來るかと申しますと、譯もない話であります。即ち此腹の蓋になつて居る横隔膜をズツト下げて、腹を壓付けさへすれば腹に溜つて居る血は何所かへ散じなければならぬことになる、丁度海綿の水を絞ると同じ理窟であります、併し間には其血が足の方へ下つて行きはしないかといふ懸念が起る方があるかも知れませんが、足の方にある靜脈といふ血管の中には瓣が澤山あつて、それが皆上を向ひて開ひて居る。そこで血が下から上に昇つて來ることは出來るが、上から下に逆戻りは出來ないやうになつて居るので左樣な懸念は無用であります。天然は能く拵へてあるものであります、横隔膜が下つて腹の血が多くなると、足の瓣が閉ちて仕舞ふので血の行く所がないから、上の瓣を皆押し開ひてズツト上つて胸の方に歸つて心臟へ這入るので、其理窟は丁度漬物を漬けた樽に蓋を致しまして、大きな石を上せますと、漬物の汁は蓋が沈むに隨つてズツト石の上へ上つて參ります。横隔膜は即ち其蓋でありまして、腹は即ち桶であります。さうして、石は横隔膜を下げる所の力の强さであります。そこで、今假に其石を除けて見ますと、蓋がプク〳〵と浮いて參りまして、汁が下へ落ちて參ります。さうするとお香の物が不味くなりまする是は私よりあなた方の方が能く御存じていらつしやると思ひます。さういふ風に、お香の物が不味くなると同じ理窟で身體の方もまずくなつて仕舞ふのであります。そこで何んでもお腹は上から上からと押へ付けて、血の溜らないやうにすることが必要である。それでは横の方から責めて行つてもよいのかといふお疑が出る、場合に依つては是も必要であります。弱い方は能く帶を强く締める。是は學校の生徒にもあります。殊に御婦人方は澤山物を締めておいでなさる。それは矢張り腹に壓力を拵へる爲に帶を强く締めるのでありますがさて、外から加へる壓力は宜くないのであります。なぜかと申せば、外から責めますと內臟が皆上へ上つて、横隔膜を押上げて仕舞ひます。さうすると胸が狹くなる。それでありますから、屈んでいらつしやる方は兎角呼吸がはづみまして少しの坂を登つて直に呼吸が切れるとか、高い所へ手を伸すと眩暈がするとか、いろ〳〵の故障が出て參るのはその爲であります。腹を締めて横隔膜が押上げられる、其上に心臟があるから、心臟が押付けられて、直に動悸を打つやうになる是は皆害になるのでありますから、成るべく腹を押へるにも外から押へないで、自から天然の機關で押へて參るのが宜しいのであります。

●我國の淸國出兵

其後北京の形勢は再び險惡となり上下恐怖の念に打たれ何時如何なる事起るやも知れざるの狀態となりたるに依り帝國政府は此場合態度を決するの必要あり石本陸軍大臣は二十五日を以て參內委曲奏上し御裁可を得たるを以て愈々淸國に向け出兵する事に決定し出兵御裁可後陸軍大臣は直に命令を發したり出兵師團は名古屋第三師團にして其中より步兵一個大隊、機關銃隊一隊（兵員約七百五十人）を編成して派遣すべく之が輸送は去る廿八日を以て開始されたる筈なり派遣部隊は淸國着後直に北淸駐屯軍の指揮下に入り公使館護衛、居留民保護、鐵道守備の任に就く筈今回の出兵は北淸駐屯軍を減兵せざる以前の兵數に復舊增員するの主意に出たる者なりと。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

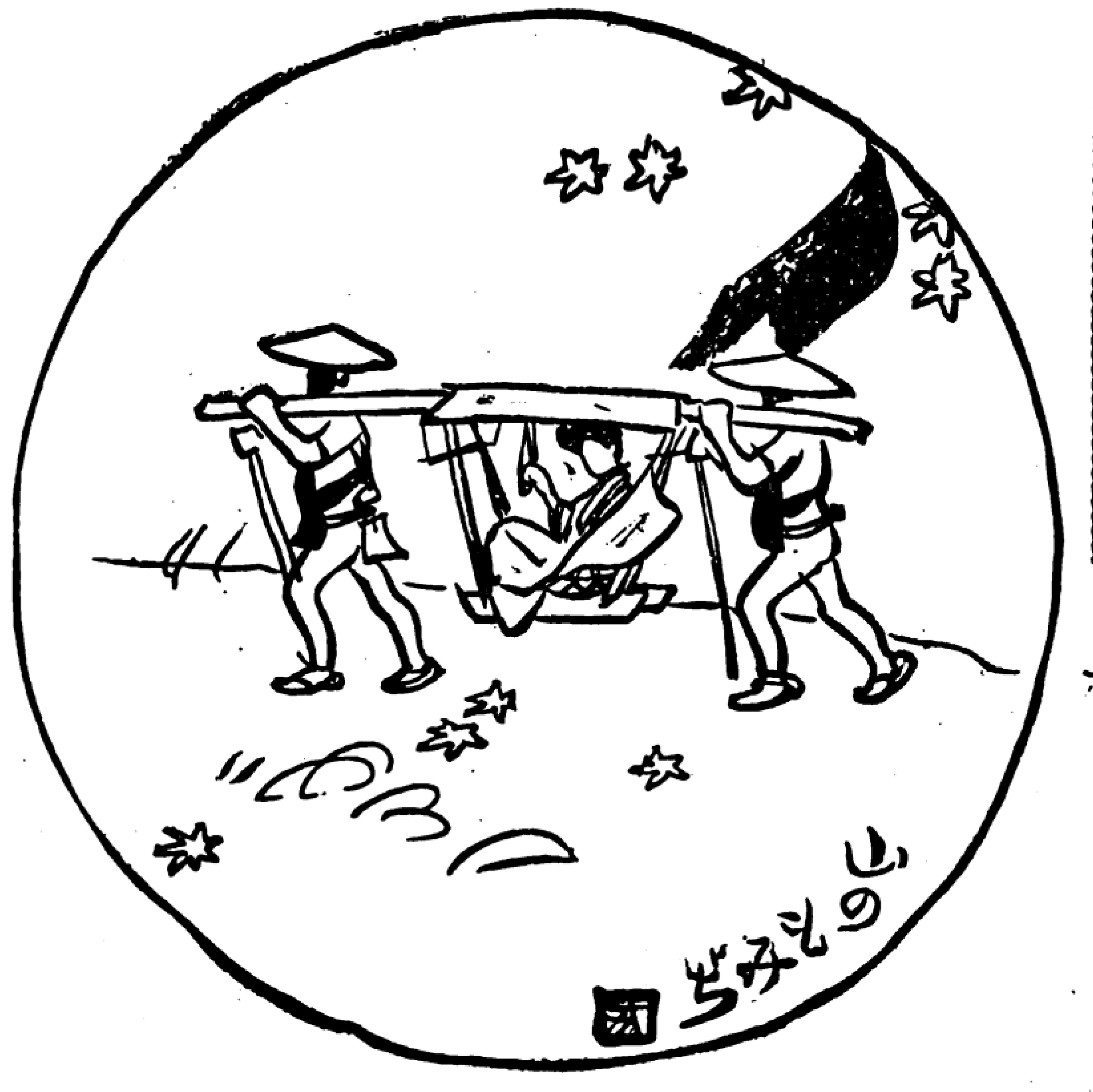
講演の一節

戰國時代の女(下)

文學士　岡部精一

私は戰國時代の女道を以て今日の女子の取るべき道であると思ひます、戰國時代では學問といふても武道に倣つたものでありますが、今日では文武二つながら學ばねばならぬ。相違といへば古と今とは之れ位のもので、大體に於ては異ひはありません、古の道を破壞して全く新しい道を立てやうとしたとて、さうは行かぬものであります。

戰國時代の思想の影響として、女子は時代の犠牲となつた。かの諸侯の間に行はれた結婚政略や人類などの事に於て女子が犠牲となり、或は悲慘な運命に陷つた事も少はありません。明智光秀は實母を人質として丹波にやつて敵手に殺さしめました。秀吉信高の間には信高の母親のことがある。總じて此時代の現象の背影には母親が人質にやられたり、最愛の娘が敵の妻となつたりなどいふやうな不自然なことが多かつた。斯く不自然なことが行はれたにしろ、日本の女子は幾多の長所美點を有つて居て女道を全うしたのであります、之が若し西洋であつたならば、さう不自然のことを強ひらるゝのは迷惑だ、女子獨り犠牲になる理由はない、とかなんとかいつて、婦人が同盟團體を作つて反抗したかも知れない、日本の女子にはさういふことはなかつた。日本の女道は實に女子によりて完全したものと云はねばなりません。或はかくては女子自らが自らを束縛したものである、と云ふ人があるかも知れませんが、世に絶對の自由といふものはありません。自由の中に不自由があり、不自由の中に自由があるのであつて、此の不自由と自由とが甘く調和して眞の自由が存するのである。若し日本の女子が絶對の自由を望み、時代の犠牲となるといふやうな事を嫌つて、男子に反抗し來つたならば、日本の社會は今日の如く、發達はしなかつた事でありましやう。其を女子が耐え忍んで來たればこそ圓滿な社會が大成したのであります。



洋服を保つに就ての注意(下)

日本女子大學教授　井上秀子

▲洋服の使用者は年々殖える一方でありますが男子の方々の洋服、外套、メリヤス、靴足袋、首卷、手袋、婦人用のコート、ショール、手袋、男女共通としてはフランネル、セル、メリンス等數へ來れば益々多きを加へるのみでありますが、扨て此等毛物類に通有せる特性の一つと見る可きは蟲の附き易いことであります、而して此の蟲が附きますと處々にプツ〱穴が明いて代無しになつて仕舞ひますから毛物類の保存法としては先づ此の蟲を防ぐことが肝要であります。

▲こゝには洋服を主として申しませう、氣候の變り目からして冬物から夏物に移らんとする場合は冬物を梅雨前の至つて天氣の良い空氣に濕氣を帶びない日を擇んで表も裏も能く日光に曝すのです、之れは蟲即ち黴菌を殺すのが主であります、お天氣計り良く共空氣に濕氣があつて生暖かい日になりますと却て洋服に附いてある黴菌を餘計に殖やす虞れがあります、まア日本の氣候で五月が一番よろしいかと思はれます、斯樣にして一旦殺菌した上ブラシをかけて常よりも一層丁寧に悉皆拭ひ取り、若し又た使用の程度が洗濯の必要に迄達して居りましたならば例の乾燥洗濯屋に托して洗濯を行ふ、然る上に洋服簞笥なり他の用器なりに保存して置くのですが、此の場合には蟲除として必ずナフタリンなり樟腦なりを少し餘計目に紙に包んで其の中に入れることを忘れてはなりません、自分の實驗に依りますると、別に箱を作つて其の中を鐵葉を以て全部張りつめて之を毛物類の保存用器と致して洋服なりショールなりマツフなりを其の中に納め、前の如く矢張りやゝ多量のナフタリンか樟腦を紙に包んだのを入れ密に蓋を致して外部から丁寧に目張りして置くと決して蟲に侵される憂ひはありません、セル、フランネルの類も此の保存法を參酌すると大變利益になることゝ信じます。

家庭育兒實驗談

(投稿歡迎)

◉鷄を飼つて貯金

靜岡　佐野ふさ子

私どもでは當年十二歳になる子供が出生後間もなく二羽の鷄を求めてその產む卵の代を郵便貯金にしてその子の名にして預けて置きました、先日何氣なく計算して見ますと思ひがけない多額になつて居りますので今更らのやうに貯金の必要を、つく〲悟りました。

◉不快なる贈品

大阪　野の菊

先頃知己から菓子を頂きましたところ、中を開きますと、左右兩方に名の違ふ名刺が二枚入つて居りました、かくては折角の到來品も甚だ不快でございますから、到來物のこんな風のお嫁入はさせたくないと思ひました。

◉疊を美つくしくする

秋田　牧野はる子

臺所の疊は、汚れ安くて御困りでせう、之を美しく拭ひ取りますには、水一升餘の所へ木灰を五合許り入れて、一度煮て灰を洗まし、上汁を他の器物へ移して、之で拭ふのです、そして二三度試ふた後すぐに新な木綿切に浸して一度拭ひます、そうしますと新調と同じ樣になります。

◉米磨水は洗粉

青森　ひで子

米を洗ふ折りその水の一番濃いところを取つておいて暫らく澄しておいてから上水を捨て下の濃いところだけを殘しそれを洗粉の代りに用ゐますと肌理がこまかく膚が綺麗になります。

◉御飯を炊く時のおまじない

豐橋　都築悦子

御飯の水が多すぎて出來そこれたる時は早く茶呑茶碗に水を一杯入れてお釜の蓋の上に置きうまして置きますと工合よく御飯が出來ます、又コゲ付く折りにも宜敷あります。

◉雨傘の保存法

松山　露子

雨傘は買つて直ちにさすのはよくありません、油がかれてからさすのです、そして使用後一年程して油の少しぬけた頃、又油をはくと新らしいものゝ樣になつて、二倍以上も使用する事が出來ます、又つきあげ骨の糸がはつれた時には、すぐに直さなければそれがため傘の紙をやぶる樣な事があります。

家政の實驗談　育兒の實驗談　を募集致します

家事經濟の執り方、臺所の注意、下婢の使ひ方、洗濯の爲方、漬物の漬方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の造り方、おしめの取扱ひ方、添寢の歌や子守の歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他苟も家政と育兒に關し、有益と思召す事でも、有害と思召す事でも凡て實際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯別りさへすれば宜しう御座います。端書でも封書でも差支ありません。續々御投書を祈ります。

▲婦人の新職業●●●●●

近年日本婦人が漸次實業界に地歩を占め職業を得る傾向あり殊に遞信省の如き鐵道院の如き其他電信電話郵便局等の官署に於ても數に婦人事務員を採用して之を最も有益なる助手と認むるに至れり、茲に又最も婦人に適當にして且つ有利なる新職業を開きたるはかの有名なるシンガーミシン會社にして同社は近頃女教師と婦人外交員とを養成中なるか同社員に就て聞く處によれば女教師は最初練習生として採用しシンガー會社は之にミシン裁縫の完全なる教育を與ふるのみならず教育中給料若くは手當を給し其技術堪能の曉を待つて教師の列に加ふるもの又婦人外交員に於ては是亦ミシンの使用法より販賣法を教育するものにて共に婦人として好適の職業といふ可くかゝる有益なる[illegible]婦人に與ふることはシンガー會社の聊か誇[illegible]處なりと云へり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋

(三十二)　京都大學講師　池邊義象

●三のしらべ

一、春のよのまの風にふき、ひらく露井の桃の花、なかばあらさる宮のまへ、月の桂のかけたかし。

この三の調べとは、唐詩選の王昌齡が春宮曲、西宮春怨、西宮秋怨の三首をとりてつくれるが故に名つけたり。第一は春宮曲にて昨夜風開露井桃、未央前殿月輪高」といふを譯せるなり。露井とは井のあるほとりのことなり。なかばならざる宮とは漢の未央宮のことなり。月の桂とは月中に桂ありといへる支那の故事をそのまゝに歌にいくるなり。即ち、桃と月とのことをいふ。

二、雲井のそらに君めつる、すがたやさしき舞姫の、夜やさむきとて惠みそふ、花のにしきの袂かな。

これは「平陽歌舞新承寵、簾外春寒賜錦袍」とあるによれり。漢の武帝平陽公主の方に行幸ありて、衞夫人といふ美人にして歌舞の上手なるものをめさる。この夫人、夫央宮の月のまへに舞ひ、優しきすかたしたるを、帝見そめたまひきといふ。

三、靜けき宮のまとのうち、あやなく花のかをりきて、恨みは長き春の夜に、まきもえやらぬ玉すだれ。

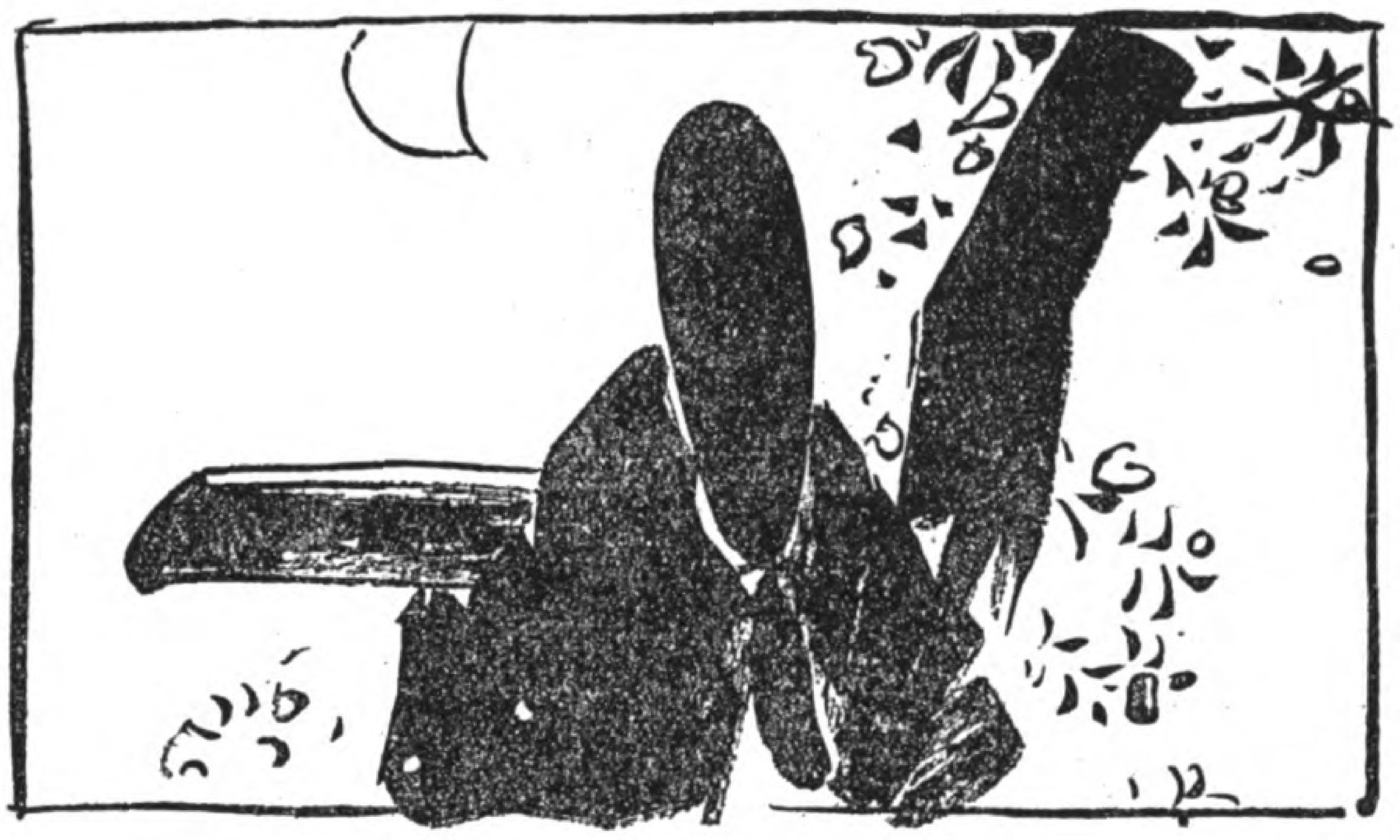
これは漢の武帝の愛せられし班婕妤といふ美人、後寵おとろへて西宮に籠り居りし情を述べたる詩の意なり。「西宮夜靜百花香、欲捲珠簾春恨長」といへる、これなり。あやなくはわけもなくなり。心なきなどいふ意にもかよへり。玉簾をかゝげて春のけしきをも見むとおもへども、それも物うくてせざるさまなり。

四、斜に琴をいだきつゝ、月にむかへばおぼろなる、影さへやがてこがくれて、ひとりつれなき夜はのとこ。

これは、「斜抱雲和深見月、朧々樹色隱昭陽」といふ句によれり。雲和とは琴のことなり。昭陽とは昭陽宮にて、帝のまします御殿なり。一體班女の寵おとろへしは趙飛燕といふ美人を納れられしよりなり。その寵の盛なるまゝに班女はみづから退きて、恐みの月日をおくりしなり。それとなく琴を抱きて、春の夜の月にむかへば、その影さへもやかてとがくれて、たゞひとり床の上に呻吟するさまなり。

五、池の芙蓉もおよびなき、人のたもとにふきわたる、風のかをりはなか〳〵に花よりも猶香ばしき。

これは西宮秋怨の詩にて「芙蓉不及美人粧、水殿風來珠翠香」といへる句のこゝろなり。美人のよそほひのけたかくて、艶なるさまなり、秋の風とは、美人のたもとにたきしめたる香のかをりをいふなり。芙蓉の花を美人にたとふることは、前にもいへり。



六、君かなさけのわすられで、すてぬ扇の秋もふけ、かたふく月の夜もすから、みゆきを待つそはかなき。

これは、「卻恨含情掩秋扇、空懸明月待君王」といふ句によれり。芙蓉の花は美人には及ぶまじ、されどそれふく風は君の御前にも至れど、美人は君のもとにも侍ることを得ず、空しくすてられし身を歎きながら、もしもやと君のみゆきをまつがはかなきとなり。すてぬ扇とは、班女君寵おとろへて後、團雪といふ扇をつくり、これは夏の間は手放さぬものなれど秋になりては捨てらるゝものなるよしをかきそへて、わが身のたてまつりしことあり。こゝにては、われは昔の事わすられず、秋ふけかたぶく月にむかひて、もしもやとおもひまつがはかなきとうらめるさまなり。班女閨中秋扇色など詩にもつくり、我が謡曲にもつくられて、名たかきものかたりなり。

この一組は、初にいひしごとく、王昌齡が詩の意によりて、寵おとろへし美人のうらみを述べたるものなるが、詩句のこゝろをわが大和詞にうまくやわらかにうつしなしたるは、なみならぬ手きゝといふべし。

さゝ波志賀のから崎風さえて
比叡の高ねにあられふるなり
法性寺入道

正月の御料理(上)

●重詰物

▲すゞきの雲むし　魚肉の切身の裏表に鹽をふり、水洗ひして竹の皮に載せ、十分間むし、玉子の泡を澤山のせ、一分間むし用ゆ。

▲飯だこのうま煮　たこを水洗ひして腸をぬき、強く霜降り(一寸湯出る)にして冷まし、鍋に敷茶を入れ、たこと生酒一合落蓋して二十分間煮砂糖茶呑に二杯入れ三分間煮、また醤油を茶呑に半分入れ三分間煮、大皿に上ぐ

▲茶筌竹の子　竹の子を茶筌形に切り一寸湯で出、煮出し一合、砂糖茶呑九分、醤油七分入れて五分間煮て、つゆに漬け置き、翌日より用ゆ

▲日の出くわゐ紅白煮　くわゐを洗ひて左右を切り落し、花形に切りて十五分間湯出、半分を紅にて燒きつけ、水洗ひして、砂糖茶呑に七分、水一杯、鹽一匁を入れ二分間煮、つゆに漬け置き、翌日より用ゆ、白煮は前の紅煮と同樣の分量にて煮る

▲花くわゐ　くわゐの後さきを切り皮をむき細に庖丁し、十文字入れ三十分位湯出、後ふきんに包み、しぼるなり、水二合に砂糖三十目、鹽二匁入れて煮、直、以前のくわゐを二十位入れ、とろ火にかけて十分位煮るなり

▲結びうにかまぼこ　平目魚又はさわらにてもよし、百目位の肉をよくたゝき、擂鉢にて擂る其中へ玉子の白身を二個及砂糖三匁、鹽一匁五分、煮出し五勺、うに少々とかし入れて擂り、まな板の上に肉を載せ、庖丁にて板摺をなし、後何なりともよし、板の上に以前の肉を一分位の厚さに庖丁にて附け火であぶるか又は鍋に煮立しお湯を其板の肉にかけろ、かたくなりし後、さしみ庖丁にてへかし縱二寸五分橫五分位に切りむすぶなり。

▲小串魚黃身燒　何魚にてもよし、一寸四角に切り、裏表に鹽をふりかけ、十分間置き、金串を魚にさし、火に掛て燒なり。火が充分通りし後玉子二個、砂糖鹽各々少々入れかきまぜ、はけにて魚の表に三回位ぬり、但し一回毎に火にてかはかすなり。

▲梅田午蒡甘煮　午蒡は成るべく太きをよしとす、能洗ひ、庖丁の背にて皮をとり、鍋に入る位に切り、わかを少々入れて三十分以上湯出、柔にならば水洗ひして、午蒡二十本位に砂糖二十匁、醤油三勺、煮出し少量入れて煮、後に小口から三分位に切る。

●椀盛

▲結びさよりに揃ひせり　さよりの尾の方五分程殘して三枚におろし、腸をぬき取り、返し結びにして裏表に鹽をふり、二十分程置き、三分間湯出、一寸冷まして器に盛り、せりは、葉はきなはし、根を切り、水洗ひして一分間湯出、水に浸し水氣を去り、一寸ほどに切りて用ゆ、

▲雪菜に鴨　小松菜又は何にてもよし、菜のさきの柔き處をつみとり、其上に以前の結びかまぼこの肉を小松菜なぞの葉にくつけてむし、椀の中に入れ、又鳥の極柔き處を薄く切り、煮出し五勺の中へ入れ醤油を猪口に半分加へて煮、菜に合せ普通の椀盛りのつゆより少し醤油がちにして出すなり

日本橋區元町大阪町八番地

高木與兵衛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

募集

＝俳句＝

鳴雪先生選

天　長崎　芳子
大庭に鎌倉武士や菊月夜

地　紀伊北牟婁郡尾鷲町　中島　昌子
山裾に紅葉を垣の小家哉

人　神奈川縣都筑郡都田村　森田たつ子
拜殿の古びし注連に木枯す

佳作

○　岩代　長谷川吉野子
ほろ酔の喜撰が顔や紅葉散る

○　千葉　綿貫けい子
本枯や土堤に見て立つ遠き火事

○　同　綿貫むら子
木枯や鵯の聲のきれぐに

○　尾張　富田いそ子
鶏の片足立つ今朝の霜

○　紀伊　中島純子
五戸の村離の菊の盛りかな

○　同　中島　昌子
荒瀧の飛沫に曇る紅葉哉
白菊や夜更けて市の人疎ら
黄菊折れば白菊折れば露しとゝ

○　芝　栗原　悦子
木枯に犬一疋の野道哉

○　豐後　旭みどり子
木枯の音さわがしき月夜かな
少女子の髻にさしたる紅葉かな

○　長崎　芳子
一つゝゝ菊の蟲とる法師哉

○　越中　森ときわ子
木枯や窓の外には海の音

○　福島　安高　靜子
凩や落葉深ふ庭の池
小男鹿の紅葉隠れに妻を呼ぶ

○　神田　伊藤みの子
祝ひなれや菊に添へたる肴籠

○　岡山　西村　濤子
古寺や山茶花一つ垣に咲く

○　本郷　中村えい子
移り住む庭や木枯ふきすさぶ

○　麻布　安川ちか子
公達の御沓濡れけり菊の露
霜白く松青くして月寒し

●一口ばなし

▲氣が利かぬ女中

主人在宅なのに度々不在だと云つて還された客が眞個に主人が不在の時に來て

客「御主人は御宅ですか」

女中「今日は眞個に不在で御座います」

▲誤　解

妻「何うか子供の爲めだと思つて御酒を上がる事を御止めなすつて下さい」

夫「何にも子供の爲めだと思つて酒を飲むのでは無い皆自分の爲めに飲むのだから差支無いでは無いか」

▲結果恐らし

甲「彼方の奥さんは今日新らしい着物を御注文に御出でなりましたよ」

乙「それはマア好かつた……此間作つた着物の勘定を拂ひに行つたのかと思つて本當に喫驚した」

▲知れきつた答辯

借家人「御借り申した家は何うして彼んなに雨が漏るのでせう本當に困りますれ」

家主「其れは雨が降るからです天氣になれば漏らなくなります」

●家、（上下二卷　島崎藤村著）　久しく鶴首されたる著者の最長篇にして上下二卷八百九十餘頁、前後二ヶ年の日子を費して始めて完成出版されたるものとか、藤村氏が作品上の力に就ては既に定評あり、且つ本書は其の力の充滿したる重みと深みと犀利なる觀察に於て從來の諸著に超越するものあり、氏の前著「春」と共に合せ讀まば、それにて青春時代の御を偲び、これにて中年の情熱と眞面目とを偲び、愈趣味の深うして作の愈優れたるを讃むる事な尚べし、（神田區表神保町上田屋發行、定價上下各七十錢）

●和歌

選者の都合より本號一回だけ休揭す

▲愛國文苑▼

◎和歌　坂　正臣先生選
磯千鳥（十二月十日締切）古　松（十二月廿五日締切）

◎和歌　佐々木信綱先生選
紅　葉（十一月十日〆切）初冬風（十一月廿五日〆切）

◎俳句　内藤鳴雪先生選
菊、紅葉、霜、千鳥、木枯、（十一月五日〆切以上の内何れにてもよろし）
寒月、埋火、冬籠、山茶花、（十一月二十五日〆切以上の内何れにてもよし）

▲愛國文苑▼

詠進歌を取次く

來る明治四十五年宮中御歌始會の御題は前項記載の如く

松上鶴

と仰出されたるに就き本紙愛讀者諸氏の御便宜の爲め例年の如く當發行所に於て取纏め囑託選者の撰選を經て淸書の上宮中へ差出可申に付御希望の方は半紙に住所姓名族籍等を明記し來る十二月十五日迄に當發行所宛御出詠相成度候也

愛國婦人發行所

來る明治四十五年一月一日號發表の歌題並俳題は左の如く定めまして特に和歌は坂、佐々木兩先生に御選を煩らはす事に致しますから〆切期日に遲れぬよう續々御投詠を祈ります

▲歌題（新年山）＝阪先生選
（若菜）＝佐々木先生選

▲俳題（若水、門松、初夢、初鷄（以上の内隨意））＝鳴雪先生選

▲〆切十二月五日

英國製「スワン」石鹸は價安くて品質よく家庭用石鹸として高評盛んなり
定價二個入　一圓廿二錢
東京馬喰町
日本一手發賣元
千代田香油本舗山岸三之助

流行ショール類
毛布マント類
神田小川町電車停留場前
中林商店
電話本局二四一九番

新案つばき〆
半ゑりは神田赤のきんに限る
本店　神田表神保町電話本局二八五三番
出店　新橋博品館階上

越後木崎　甘味ありのみ
新荷着　市内一圓無料配達
神田區今川小路俎橋際三軒目
梨卸商　本廣商店

ニキビ　そばかす、なます、田蟲其他吹出物一切に特効ある藤本藥學士發見最新奇藥製劑發賣す郵券二錢封入者に該病療法事無代進呈
東京市本郷區東片町二九　振替口座東京七六二九
長田商會

全國有名なる金物店にあり
木箱入　金貳圓五拾錢
發賣元　東京淺草區茅町淺草橋際
阿部彥四郎商店
電話下谷一九二三・三二四八番
振替口座二三六三三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事解説

混沌の支那國　色も香もある女紅十字團

▲……讀者諸姉も迅くに御承知の如く支那の擾亂は益々烈しく滿朝の威嚴日に衰えて革命黨の軍氣は日一日と盛となるやうに報道されます、嗚呼四百餘州の山河、四億餘萬の蒼生は將來果して奈何なるのでありましやうか、

袁内閣成立

袁に湖南の革命軍討伐の爲め漢口方面まで南下したる袁世凱は更らに去る十二日に北上して北京に入り自ら總理大臣に新任し外に二十名の新大臣が任命されまして玆に新しい内閣が組織されました。其他大臣に移動がありました。從來支那の内閣大臣には多く皇族が任命されましたが今回は一名も皇族を交へませんので、形に於て稍これまでより進歩した内閣と云はればなりますい。が、さて何時まで此内閣が持續致しましやうか?。

海軍の全滅

云ひ甲斐なき支那國軍艦は最に漢口で少しく活動したのみで揚子江を上つたり下つたりして居たやうですが遂に一隻降り二隻降りて白旗を掲げ、去る十四日は革命軍占領の鎭江灣内で十二隻の軍艦が一時に降伏して了つたので今や清國海軍は全滅に立至つたさうでして革命軍は是等軍艦の威力を以て高城百里難攻不落の南京城を攻撃せんと準備中の樣子であります。

南京死守の張勳將軍

芝罘も革命黨の手に陷ち、上海、西安、福州、重慶等も占領され、廣東は獨立し、其他北支那の都邑は大概革命軍に歸した中で獨り支那の歴史に由緒ある南京のみは剛骨將軍張勳なるものありあれ迄北京朝廷に忠義を盡し部下二萬の兵を督勵して城を枕にいさぎよく死して護國の鬼とならうと決心したかどうかは知りませんが兎に角南京城の死守を誓言し何處までも革命軍に渡さじと頑張つて居りますのでいづれ近く一大決戰が行はるゝでありましやう。ところが曩に張勳は一度革命軍を敗つて漢人の大虐殺を行つたので近く大會戰の折に若し革命黨の軍威揚らば定めて其の復仇的の大虐殺が行はるゝであらうと報ぜられます。

日本赤十字社及西本願寺の活動

最に日本赤十字社よりは博愛慈愛の趣意により不幸なる支那の傷病兵士を救濟せんため第一救護班を漢口方面へ向つて派遣されましたが本派本願寺にても同派慈善財團より金圓を支出して中國赤十字隊を援助する外京都本願寺看護婦養成所よりも十名の看護婦を上海漢口其他に派遣することに評議決して目下準備中と報ぜられます。

女紅十字軍

牛込河田町なる東京女醫學校生徒清國廣東州の產蘇淑貞(二十)妹蘇洵貞(十七)の兩孃は故國の動亂がます／＼擴大しても兩軍の傷病者を救護する道がなく大變に慘狀を極めて居る由を聞いて座視するに忍びず身は弱き女ながらも赤誠を盡さんものと慨然意を決して同窓の女醫學生等同志八名と語らひ女子紅十字團を組織して親同胞にも別離を告げ去る十月十九日歸國の途に付き上海から漢口に赴き彈丸雨下の危險を物の數ともせず兩軍の傷病者救護に從事して居られますがこの淑洵兩孃には當年五十二歳の母堂呉桂端といふのが居られまして、此呉氏が大變に剛氣な方でして去る四十二年良人と共に來朝したが今は其の良人にも死別し二男三女の母として其の成業を樂み居る内端なくも今度の革命戰が勃發したので日頃剛氣の呉氏は恩愛の情を抑へて兩孃を勵まし奮つて難に赴かしめたのださうであります。

道に兩孃の安否氣遣はれる處へ去る十一月二日附で漢口の姉妹から母堂へ宛てた書狀が參りました、取る手遲しと披き見し呉氏の胸のうちは奈何に嬉しかつた事でしやう。其の文面は水茎の跡も美はしく左の如くに、

歡興者、母上樣には昨日今日御起居如何遊ばされ候や御伺申上候、さてとや、妾等漢口に到着致し候てより早々衛生隊に加はり紅十字救護班を組織致し傷病者の看護に從事罷在候處、何分負傷者の數想像の外多く候事とて一行の諸孃何れも大多忙を極め日夜交代にて看護致し居候、而して本班は戰線に接近致し居候ことなれば終日銃砲の響いと凄じくして誠に耳も聾せん許りにて候、彈丸繃帶所の天幕の上を往來し膽を冷すこと有之候へども妾等は固り覺悟の上の事に御座候へば決して死を懼れ申さず、飽くまで看護婦としての天職を全うするに努め母上樣の御名譽を傷くる樣の振舞は努々無之心底に御座候まゝ何卒々々御安心被下度願上げ候かしく(和譯)

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金は壹部金錢五厘壹ヶ月七錢であります。此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其上郵税もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手で御註文又は御送金の節は必らず一割增に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ひます。

愛國婦人發行所

實用新案 複製形 名ミカド火のし

●圖の如く外部には裝飾兼備の風通し穴あり以て熱度の加減を自由ならしめ僅少の炭にて長時間使用し得る實用的至便の良器なり

定價 甲 金一圓八十五錢 乙 金一圓三十五錢

實用新案 火のし臺 此火のし臺は金屬製にして御使用の節は是非必要の器具なり 甲卅錢乙十六錢

●販賣所全國到る處の金物商店にあり

日本橋通油町 製造發賣元 電浪一四六二 石川商店

有名なる ハカマヤ

東京市神田區小川町影山袴專門店は從來德義を尊重し男女用御袴の專業店として普く諸賢の高評を賜はれり最も懇切にして廉價、殊に裁縫の巧妙と恰好風姿等綿密に高雅なる理想的技能を特有し益々禮節的皇國美風の發展に微力を盡しつゝあり

東京神田小川町 影山袴專門店 電話本局三八二六番

金婚正宗の名譽

愛飲家の福音

畏も御買上の榮を荷へり

名譽附特撰金婚正宗は毫も防腐劑を含有せざる故に日常の飲として衛生唯一の好飲料なり

宴會用御瓶詰あり 瓶詰箱入 各洋酒問屋にあり

發賣元 神田美土代町二丁目角 豐島屋本店 電話本局三八八〇 三八八一

DIGESTIN 新消化藥チケスチン

日、英、米、露、佛、伊、白、印、加、墨、墺、濠、瑞、十三ケ國 專賣 政府特許

▲銀賞牌受領!(發明品博覽會 日英大博覽會 に於て)

本品の特徴は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化血中へ吸收せしむる世界無比の腸胃最新藥なり ▲販賣所は各地藥店にあり (尚ほ詳細說明書は御申込次第送呈す)

發賣元 合資會社 園城商廛 東京市日本橋區本町三丁目

京都大學教授 文學博士 谷本富先生新著

女子教育

△定價壹圓郵稅十二錢 △大版上製總布金字入

◎博士は最も進歩し最も穩健なる教育家の泰斗也

◎今回歐米の女子教育を視察し歸朝後第一に此書を著す即ち日本に於ける女子教育に關し

▽最新の名著也△

◎新時代の妻母娘婦人の本分を說き得て清新穩健

◎男女教育者は勿論一般女子及父母家庭必備の大名著

▲新渡戸博士著「修養」○上製價壹圓七拾錢郵稅拾貳錢 大歡迎忽十二版

▲鎌田榮吉君著「獨立自尊」上製價壹圓七拾錢郵稅拾貳錢 大好評忽三版

東京京橋區南紺屋町 發行 實業之日本社 振替口座東京參貳六番 賣捌 全國各地書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●台臨

前號記載の如く本會總裁宮殿下には高知支部第二會々員總會御台臨の爲め去る二十六日新橋御發車御西下遊ばされたるが御發着御日割左の如し。

十一月二十六日	午前八時三十分	新橋御發
	午後八時三十一分	大阪御着(御泊)
同　二十七日	午後三時二十一分	大阪御發
	同四時十七分	神戸御着御乘艦
同　二十八日		高知縣須崎港御上陸高知御着
同　二十九日		高知御滯在
同　三十日		高知支部總會
十二月一日		高知御滯在
同　二日		高知縣須崎港御乘艦
同　三日		朝神戸御着
同　三日	午前八時十分	神戸御發
	同十一時十九分	馬場御着(石山御泊)
同　四日	午前九時五十九分	馬場御發
	午後八時三十分	新橋御着

●會告

愛甲第一三二號

本會の會歌並に其譜今般別紙の通設定相成候間便宜の時機に於て合唱相成候樣致度此段及御通牒候也

明治四十四年十一月十三日　各支部

愛庶第二七〇號

明治四十年十月愛庶第四〇八號(例規類集二九頁參照)を以て通牒相成候參事會今般評議員會の決議に依り自今廢止相成候條此段及御通牒候也

明治四十四年十一月十三日　各支部

愛國婦人會

●有功章贈與

長崎支部副長　森　靜子
同　參與　森　豊助

功績に依り一等有功章贈與

長崎支部副長　北川小糸子
長崎支部　田代遊嘉子
同　河村喜勢子
同幹事部長　富永數子
同幹事　松本りう子
同同　富山かの子
同同　高力菊子
同同　岩本須磨子
同幹事部顧問　富永正爵

功績に依り二等有功章贈與

長崎支部幹事　島　とみ子
同　原口よし子

功績に依り三等有功章贈與

(以上十一月廿九日)

●彙報

▲理事會　去る十一月十六日午後一時より理事會開催阿部會長、濱尾副會長、有島幸子、闕むら子、高木鐐子、丹羽花子の各理事出席會務上に就き種々協議ありたり。

▲評議員會　去る十一月二十二日評議員例會開催阿部會長、濱尾副會長、理事三輪田眞佐子、同闕むら子、同古市幸子、同高木鐐子、同山脇房子、評議員井伊常子、同新山雅樂子、同保利久土、同渡邊源子、同南部幸子、同永井兼子、同柳谷千代子、同佐方鎭子等出席、種々協議あり、終りて幣原救養所長の有益なる歐亞漫遊談ありたり。

▲吊詞　驅逐艦春雨遭難に就き去る二十五日會長より佐世保鎭守府司令長官出羽海軍中將宛左の吊電を發せられたり。

春雨驅逐艦遭難の爲め兒玉大尉殿始め乘組員の殉死せられしを悼み恭しく吊詞を呈す

▲討蕃隊慰問袋　前號〆切後到着の分左の如し。

一金四十五圓三十四錢　岩手支部
一金百七十五圓七十五錢　岐阜支部
一金五十四圓七十五錢　鳥取支部
一金百七十七圓七十五錢　外ニ現品四十五個　東京支部
一金二百六十圓五十錢　外ニ現品三個　愛知支部
一金八十一圓八十五錢　大分支部
一金百九十九圓五十錢　島根支部
一金五十一圓二十五錢　宮崎支部
一金五十錢(追加)　富山支部
一金一圓五十錢(同)　靜岡支部
一金九十八圓(同)　兵庫支部
一金二十四圓二十五錢(追加)　德島支部
一金三十五圓七十五錢(同)　山形支部
一金百五圓七十五錢(同)　外ニ清心丹二百袋　千葉支部
一金五十四圓十五錢(同)　岡山支部
一金二十一圓(同)　神奈川支部
一金十一圓二十五錢(同)　奈良支部
一金一圓二十五錢(同)　和歌山支部
一金十一圓六十五錢(同)　京都支部
一金二十二圓六十錢(同)　外ニ現品三十個　埼玉支部
計金千四百三十三圓五十九錢
一現品十三個　函館支部
一同　一個　佐賀支部
一同七百七十一個　北海道支部より臺灣支部へ直送
累計金四千三百九十七圓十九錢五厘　外ニ金一錢は五厘宛二口爲替端金切捨
同現品千三百三十三個と清心丹二百袋

▲訂正　前號小計金八百七十八圓七十七錢五厘は金九百七十八圓七十七錢五厘累計金二千八百六十三圓六十一錢五厘は金二千九百六十三圓六十一錢五厘の誤に付き訂正す

地方記事

廣島支部

▲深安幹事部總會　廣島支部深安幹事部總會は去る十一月三日天長の佳節をトし同地福山公園に於て開催せり、會場の周圍には青白の幔幕を張り、正面一段高く式場を設け、總裁殿下の御眞影を揭ぐ、中央高く國旗を揭げて四方に萬國旗を吊す、其他萬端の裝飾、準備遺憾なく整へり、定刻に至るや會員來賓會長と順次入場着席し、君が代吹奏の後式に移り、幹事部長吉田スエ子總裁殿下御眞影の覆を撤し、亞で職員名簿及會員表を會長に呈し、幹事部長代理顧問吉田弘濂開會の辭を述べ、次に三十七八年戰役に關し本會に賜はりたる御令旨を捧讀す、終りて會長阿部伯爵夫人は左の告辭を朗讀さる。

愛國婦人會廣島支部深安郡幹事部は茲に第一回會員總會を開かる惟ふに當幹事部は會務の擴張と整理に盡瘁せられ其効果として現在會員二千有餘名に增加せるは篤子等の欣喜に堪へざる所なり然れども將來尚經營すべきもの尠からず各姉妹方よ冀くは益同心戮力會務の發展に努め總裁殿下の台旨に副ひ奉られんことを一言以て祝詞とす

明治四十四年十一月三日

愛國婦人會長
伯爵夫人　阿部篤子

之に對して吉田幹事部長の答辭あり。

茲に天長節の佳辰をトし愛國婦人會深安郡幹事部第一回總會を開くに當り特に本會長閣下の臨場を辱し懇篤なる訓示を賜ふ本會の光榮何を以てか之に加へんや今當幹事部に於ける會員は漸次增加し二千有餘人に達せり之れ閣下御指導の厚きによるものにして洵に感激の至りに堪へず自今益々一致協力して會務の擴張を計り以て今日の光榮に副はんことは期す謹で答辭とす

明治四十四年十一月三日

愛國婦人會深安郡幹事部長　吉田スエ子

次で市來幹事は事務報告を爲し、夫より廣島支部長宗像ツタ子、吉田顧問、來賓委員總代神原恒太郎、會員總代磯島ツチノ子等の祝辭朗讀あり、會長は吉田スエ子、日谷サメ子、木村サダ子、及兒玉語一氏に夫々有功章を授與し、幹事部長は總裁殿下御眞影の覆を復し、會員は今回新たに作りたる幹事部總會の歌を合唱し、杉原二部長は式場前に優待員たる戰病死者遺族を集めて慰藉し、門川廣島支部主事一場の挨拶を述ぶ、次で杉原氏會員に對し本會の趣旨を述て閉會し、一同記念の撮影を爲し、餘興として式場前に於て大津野青年團の跳踊あり、終りて會員には折詰辨當及記念の扇を配布し、會長以下役員幷に來賓は葦陽館に於て折詰の饗應及記念の扇子を配付し、尚引續き煙火音樂(三曲)講談等の餘興を催したるが當日の臨場者は約千五百名にして頗る盛會を極めたり、又當日午後三時よりは葦陽館に於て會長以下役員及委員の慰勞會を催し、席上餘興も賑に是亦頗る盛會なりき。

和歌山支部

▲支部長就任披露會　新任川村和歌山支部長は就任披露を兼ね會務擴張を圖らん爲め去る三日天長の佳辰をトし午後一時より二番丁官舍に支部顧問、相談役、評議員、會計監督並に和歌山市、海草兩郡幹事部長及顧問を招待して茶話會を開けり、先づ支部長の新任挨拶を終り、會務に就て懇囑さるゝ處あり、次に川村顧問は支部の現況より說き反覆目下の不振狀況を擺脫せざるべからずとて一場の希望を述べらる、佐々木評議員は婦人役員を代表して答辭を朗讀せり、兒玉主事又支部現況、會務發展に就て具體的に詳述する處あり、各自會務上の懇話を爲し散會したるは午後七時なりき。

靜岡支部

▲廢兵用自由車貸與　靜岡支部管內濱名郡淺場村廢兵新村安吉は三十七八年戰役の際步兵第十八聯隊に屬し步兵一等卒を以て出征し三十七年五月南山激戰に於て負傷し兩脚の機能を失して步行する事能はず起居に至る迄他人の介輔を受くるの容體にて過る四十一年十月當支部第一回總會の際は家人に輔けられて參列し廢兵總代として總裁殿下より御下賜金を拜受せしものなるも身體の自由を得ざるより平素室內に閉居して慰安を求むること能はざる可憐の狀態に在り是等國難の犧牲に投じたる勇士にして此の如き境遇にあらしむるは轉々同情の念に堪へざるものありとて同郡幹事部の具申により靜岡支部は慰安の一助として三重縣山田市大東太一郎が考案製品に倣ひ且つ乘用者の狀況を斟酌して製作せし廢兵用自由車を購入し終生貸與の條件の下に先般同人に送附したるに同人は大に嬉び直に試用の結果頗る輕快にして恰も雙脚を得し如く自由に室外を運動する事を得たり、斯の如くして從

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金　は會部發録五厘壹ヶ月七錢であります。此代金は五月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を前送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が一番安全で、紛失や未着の恐れもなく其上郵便賃もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時には、拂込口座記號料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金　の御方には當所から更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御證據に御保存願ひます。

▲郵便切手　で御注文又は御送金の節は必らず一割増に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所　の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名　は明瞭にお認め下さい。御轉居の節は、必らず新舊御住所御認め願ひます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來陰鬱に閉されたる同人の家庭は忽ち靄然たるものあり同人の喜悦亦一方ならず自ら書簡を寄せて深く當支部の厚意を感謝したり。

尚又同人妻ヤスは夫安吉出征前婚約せしも安吉は不幸にして不具の身となりしを以てヤス將來の幸福の爲め此の婚約を破り他へ婚嫁せん事を諭したるも頑として應せず假令夫の身は不具となりたりとも一度婚約せし以上は二夫に見えずとて遂に婚姻の式を擧げたるものにて爾來ヤスは專ら農業に勉勵して專心家業を營み且つ不具の夫を扶けて並々ならぬ慰諭を與ふる等只管貞節を盡し居るものにて誠に一般婦人の模範たるべきものなり。

因に本紙第二頁に掲載せし廢兵用自由車寫眞先般總裁殿下へ獻上致したる處御嘉賞の上結構の事也との有り難き御詞を下されたり。

▲幹事部の救護金傳達式

靜岡支部賀茂郡幹事部は曩に當支部より配當せし本年度定期救護金中同郡下田町遺族に對し去る十一月三日同郡役所會議室に於て傳達式を擧行し郡吏員、警察署其他官公署吏員三十名及會員約七十名參列傳達の上同郡幹事部顧問、同幹事部長其他の講話あり遺族は孰れも本會の深厚なる同情に感泣し一般參列者にも多大の感動を與へたり、尚同郡幹事部は他の各町村遺族に對しても右に準じ順次傳達式擧行の筈なり。

福島支部

▲耶麻郡幹事部總會

福島支部耶麻郡幹事部にては去る十月十七日喜多方町小學校内に於て第一回會員總會を擧行せり、支部よりは西久保支部長、阿部評議員臨席、午前十時青沼幹事部長開會の趣を告げ、君が代の奏樂中總裁殿下御眞影の幕を揭げ謹で、令旨の捧讀あり、次に西久保支部長の祝詞、青沼幹事部長の答辭、事務員の會務報告、幹事及會員總代の祝辭あり、夫れより支部長は功勞者に有功章又は賞狀を授與し、終りて百餘名の遺族廢兵を慰問し、午前十一時三十分閉會せり、當日は天氣晴朗出席會員千餘名に達し非常の盛會なりき。

▲若松市幹事部總會

福島支部若松市幹事部に於ては去る十月十六日白虎隊の憤死せる飯盛山上に於て會員大會を開く筈なりしが生憎の雨天の爲め臨時東山溫泉新瀧旅舍に變更して開催せり、西久保支部長を始め阿部評議員、山上福島市幹事部長、松本同幹事其他來會者百五十餘名、午前十一時席定まるや竹田幹事部長は開會を告げ、西久保顧問、阿部相談役及前田縣會議員等の奬勵的祝詞演說ありて茶話會に移り各自胸襟を披きて會務發展策を談じ、筑前琵琶狂言等の餘興あり頗る盛大に散解したり。

北海道支部

▲委員部總會

去る十一月一日北海道支部宗谷幹事部船泊委員部會員第二回總會を同地小學校内に開く、當日は折惡しく暴風雨の爲め出席申込數の半數に充たず來會者三十四名に過ぎざりしは甚だ遺憾とする處なり。會の狀況左の如し。

一、午後一時開會、委員眞壁軍次幹事代り、御諭旨捧讀、會員一同起立、

二、石原支部長祝辭及山上幹事部長の祝辭

三、眞壁委員會務上諸般の報告、終て有志者上野船泊尋常高等小學校長、能越初崎尋常小學校長、山形貫儀、千原醫師等の講演あり、後餘興運動數番ありて散會したるは午後六時なりき。

島根支部

▲定期救護金贈與

島根支部内居住軍人遺族廢兵にして本年度定期救護金の贈與を受けしもの左の如し。

明治四十四年度定期救護金贈與人員金額

幹事部	丙の部 金四圓 人員	丙の部 金四圓 金額	丙の部 金七圓 人員	丙の部 金七圓 金額	丁の部 金十二圓 人員	丁の部 金十二圓 金額	丁の部 金十六圓 人員	丁の部 金十六圓 金額	計 人員	計 金額
松江	二人	八円	六人	四二円			三人	四八円	一一人	九八円
八束			二一	一四七	二	二四			二三	一七一
能義	二一	八四	六	四二	六	七二			三三	一九八
仁多	二	八	七	四九	三	三六			一二	九三
大原	二	八	二〇	一四〇	二	二四	一	一六	二五	一八八
飯石	二	八	一二	八四	二	二四	一〇	一六〇	二六	二七六
簸川	二七	一〇八	一九	一三三	一一	一三二	九	一四四	六六	五一七
安濃	二	八	四	二八			一	一六	七	五二
邇摩	四	一六	三	二一					七	三七
邑智	三	一二	四	二八					七	四〇
那賀	九	三六	一四	九八	一〇	一二〇	八	一二八	四一	三八二
美濃	九	三六	一一	七七	二	二四	五	八〇	二七	二一七
鹿足	四	一六	五	三五					九	五一
隱岐			一六	一一二	一〇	一二〇			二六	二三二
計	八七	三四八	一四八	一、〇三六	四八	五七六	三七	五九二	三二〇	二、五五二

朝鮮本部

▲木浦委員部總會

愛國婦人會朝鮮本部木浦委員部にては去る十月八日木浦公會堂に於て日本赤十字社同委員部總會と合同し第二回會員總會を開催したるが來賓、社員、會員三百餘名出席、爆竹を合圖に開會し、委員長橋本府尹夫人は會員總會式辭を朗讀し、事務委員市原府書記、事務會計報告をなし、朝鮮本部の大橋主幹、本部長の祝辭を代讀し、次に會長、其他各支部委員部よりの祝電朗讀あり、富家タネ子會員總代として答辭を述べて式を閉じ、夫れより宴會模擬店の開始ありて一同歡談に時を移し尚別室にては愛國婦人會木浦委員部役員諸氏が、同部の資金を得るの目的を以て本年夏季以來熱心に製作したる手藝品を陳列し、慈善市の開始あり、來賓、社員、會員の有志は、婦人令孃連の愛嬌ある案內勸誘に依りて各自競ふて望みのものを買取りたるため、多數の出品も忽ちにして品切れの好況を呈する等頗る盛會を極めたり、尚當夜は社員、會員、及其家族等のため朝鮮本部所有の幻燈幷に活動寫眞を觀覽せしめたるが會集五百餘名何れも歡喜の聲場に充ち非常の盛會なりき。

▲光州支部發會式

去る十月十一日公立光州普通學校內に於て愛國婦人會朝鮮本部光州支部發會式を擧行したり、今其の概況を記せんに、會場たる普通學校の校庭には紅白の幕を廻らし、入口には國旗を交叉し門前と校內には來賓控所會員控所を設け式場は講堂を以て之に充て正面式壇の傍には大花瓶に草花を挿み周圍には紅白の幕を張り天井には萬國旗を以て裝飾を施したる等壯觀を極めたり、午後二時を報ずるや、役員及會員一同着席し第二報を以て來賓一同着席し風琴の合圖にて一同敬禮、工藤支部長式辭を朗讀し、次に工藤顧問の祝詞、大橋主幹の朝鮮本部長祝詞代讀ありて、檢事正關口半民來賓總代の祝辭、次に愛國婦人會長阿部伯爵夫人、朝鮮本部相談役兒玉伯爵及愛國婦人會木浦委員部長の祝電を朗讀し、終りに會員總代氏野春子の祝辭あり、次に工藤支部長の閉會の辭ありて一同敬禮來賓以下順次退席せり、式後校舍の前庭に於て記念の撮影を了り茶菓の饗應をなし、全く散會したるは午後四時頃なりき、當日の來賓は大橋本部主幹を始めとし在光州の各官衙、軍隊、病院、銀行、學校等の代表者幷に各高等官三十名餘會員の參集したる者五十名餘なり。

▲活動寫眞會の狀況

活動寫眞會は劇場高砂座を以て會場に充て場の內外は紅白の幕を張り舞臺天井等は萬國々旗球燈飾紐等を以て遺憾なく裝飾したり、場內來賓席は內地人席朝鮮人席を設け、來賓は發會式に案內したる來賓にして男子なるも、其他の觀覽者は總て婦人に限りたり、午後六時より絡繹として入場者相踵ぎ忽ちにして場內立錐の餘地なきに至りたり、午後七時佐藤相談役開會の辭を述べ次に大橋主幹の演說ありて幻燈及活動寫眞の開始となり、一々同主幹說明の勞を取られ大に觀覽者に感動を與へたり、又活動寫眞の中途に於て一心齋の奇術を寄贈開演したると蓄音機を使用したるは大ひに興味を添へたり、當夜の參會者は內地人朝鮮人を合せて五百名以上に達せり。

●附記

今回の催しは木浦委員部總會に本部より臨場せらるゝを聞き、好機逸すべからずとし俄に議を定めて本部に稟申したるは十月一日のことにして本部の回答を得て日時の確定したるは同四日なり、故に一週の間に於て種々の準備を整へたることとて會員の增募會費の徵收等に十分力を盡すべき餘日なかりしは甚だ遺憾とする所なり。

千葉支部

▲幹事部總會

千葉支部管內君津郡幹事部第一回總會を去る十月十八日日本赤十字社君津郡委員部第一回總會及教育展覽會、物產品評會を兼ね木更津高等女學校に於て開會せるに來會せるもの無慮三萬人に及び當支部よりは告森支部長、小池評議員其他臨席し午前十一時開會、參列せし遺族並廢兵百四十二名に對し支部長より慰問の意を表する爲め夫々菓子料の贈與ありて午後一時半閉會し尚餘興の催ありたり。

愛國婦人第二百三十八號附錄　發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 竹內貞三　發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所　印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

教育講談 貞女の一念（六）

眞龍齋貞水

「サア〳〵能く受けた、何でも好い物を買つて早く機嫌を直して歸んな、オイ手前も幾らか遣つて與れ」

「手前がやつたら宜いぢやないか」

「俺のに乘つて遣る奴があるかい、手前は別に遣れ」

「小錢のが無い」

「小錢のが無ければ大きいのでやつて與れ」

「大きいのつて二朱だい」

「二朱でも宜いや、それを遣れ」

「子供にそんなにやる奴があるか」

「遣らねえか、遣らなけれア、此前の割前を返せ、それが忌やなら遣れよ」

「そんなに言はなくつたつて仕方がねえ遣るから宜いぢやねえか、……坊や此叔父さんが、大きいのを遣るから早く歸んねえ」

喜んで重太郎は御辭誼をして往く

「アヽ宜い心持だ」

「手前は好い心持だらうが、俺ら二朱取られて、餘り好い心持ぢやない」

「吝嗇なことを言うな、人に施しや、復廻つて來るんだよ、サア出掛けやう」

と威勢よく職人は往つてしまう、江戸ッ兒は五月の鯉の吹流し口先許りで膓はなしと川柳で惡口を申す通り、無暗にサックリした職人が呉れました、さて威勢のいゝ江戸ッ子の兄イからお金を貰つて途中で藥を買つて家へ還つて來た重太郎

「母樣只今歸へりました」

「どうしました、お前は大層遲く」

「唯今お藥を購めて參りました」

「オヤ〳〵御前が私に服ませるお藥を」

其處に藥を出す途端にお金混りのお鳥目が袂からバラ〳〵

「コレお前はドウして斯樣なお金を持つてお在てだ」

「ハイ」

「サア話をして聞かして下さい、御前假令どの樣な困難に陷らうとも世にある時は間重次郎光興樣の伜、此の母が病中で居るために御前惡い心を出して人樣のものでも手に觸れはいたしませぬか」

「イヽエさうではございませぬ」

「ぢやアどうしてお金を持つてお在だ」

「ハイ母樣が御身體が御惡るいし、父樣から御消息がないし、心配でございますから土手に登りまして、淺草の觀音樣に母樣の御病氣の御癒りあそばすやうに御願ひ申して居りましたところへ、職人のやうな叔父さん達が參りまして、私が泣いて居りましたのを見て、何を泣くのだお金を遣るからこれで好いものを買へと申しました、戴くまいとは思ひましたがこれがありましたら母樣に御藥でも買つて上げられるだらうと思ひまして、戴いてお藥を購めて參りました」

といふとお貞殿が重太郎を抱き上げて

「エヽ、此の母が病中晝といひ夜分も睡らず看病して呉れまするのみならず、それ程までにお前に苦痛をかけるは氣の毒でございます、ドウしたら宜からう」

と重太郎の頰に自分の顔を押當てまして無言となつてハラ〳〵と熱き涙を流されました。

「母樣其のやうに御心配あそばさぬでもお宜しうございます」

とこれから土手に出ては袖乞をいたしまして幾許をか戴いて、それにて母樣を養ふといふ十歳未滿の少年に稀なる心掛、母は之を病中苦をいたして、寧そのこと一思ひに死んで我子に心配をさせぬやうと思へど、未だ此先き些か望を抱いて居りまする身、唯だ心苦しくも伜重太郎の扶養を受けて、其の夏一杯、秋の初めより秋の末、段々と送る中にもう極月と相成りまして、チラ〳〵雪の降る其の中を汚れ腐つた袷一枚を着し、頰冠りをし、藁草履を穿いて、土手に來りまして、手も足も茹でた蛸のやうに眞赤になり、往來の人を待ちみをるけれども、人足絶えたる隅田堤、今日は幾許か戴けなければ明日は母親に上げる手當がない、どうしたら宜からうと、誰か彼かの夕間暮、茫然と寒さを耐へて居りました。所へ向ふから二人の武士、合羽を纏ひまして、足駄、蛇の目の傘、二人連にて雪を踏み分け來られるのを見ました其前に進み出で

「どうぞ御手の中を戴かして下さいまし」

二人の武士は顔を見合せ

「ア、可愛想なもの、尊公小錢を持つてござるか」

「某は小錢の持合せがない、コリヤ折角であるが、唯今吾々は小錢の持合はせたるのがないから、後から參る武士一人、これに縋つて申受けよ、（つゞく）」

婦人画報

書報
◎桃われ　石川寅治氏筆　二頁大三色版
◎七五三のお祝ひ…◎正親町氏と婚約成し大谷綾子姫
◎松原氏の邸宅庭園茶室…◎三輪田高女運動場の五分間
◎伏見若宮殿下の御出發と妃殿下御見送
◎女子美術生徒の活人畫…◎雨傘の製法順序…
◎女學舘生徒の弁遊び◎天長節夜會場◎女子大學運動會
◎さま〴〵な手つき◎お茶の水高女生徒のお茶ほり…
◎久邇宮三女王殿下最近御眞影
◎第一第二第三高女運動會…◎棚橋京華二高女運動會…
◎川島司令長官家庭…◎隈徳三氏家庭と庭◎淑徳運動會
◎皇太子妃殿下學習院台臨
◎大和田氏追悼待宵會◎臨地會書道大會◎琴のおさらへ◎令嬢がゝみ◎弘前女子部秋期運動會　其他

十二月一日　十二月卷　一冊廿五錢　郵二錢（六册一、五五　十二册二、八八）
東京飯田町　東京堂　振替二一八一八

讀物
◎歳暮と女…井上博士
▲母君方の顧問…黄雲女
▲御題詠進心得…大口鯛二
◎借家の注意…佐治實然
▲皇后陛下の御歌…稲子
▲十二月の婦人の仕事…
◎今年の婦人界…下田次郎
▲召使の仕こみ方…加藤紫子
▲育兒十二ケ月…加藤博士
◎暮し向の上手下手…嘉悦孝子
▲國様々の結婚式…紫の家
▲歳暮の贈答品しらべ…
◎衣服と髮…田波學士
▲兩親内王殿下の御事…山口博士
▲婦人の眼…諸夫人
◎訪問の愉快と不快…清藤秋子
▲安く出來る子供の帽子…
▲冬の仕たくしらべ…
◎歳の暮…高田濱尾
▲泣くと云ふ事…源其英
▲古今の女歌八…佐々木博士
◎其日々々…三宅花圃
▲十二月の料理と正月用意…
▲今月の趣味と教訓…しづか

特許　巴風呂
二十分て沸く
二錢の石炭一くべで
燃料は何でもよし
特許　己式　一分湯沸
半分間で沸く　水を差せば差す丈湯となつて出る
東京神田區鍛冶町十九　巴商會

別染めりんす友染
珍柄秩父めいせん
其外絹綿交織反物
東京人形町通よし町
赤のれん　おむなや本店
電話浪花四三四五番
向ふまへ　おむなやめりんす店

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所
本店　麹町區永田町二丁目
乳牛場　豊多摩郡千駄ケ谷町
鈴木牛乳店
電話新橋一九九五　振替口座二四二四
一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歳暮と年始の贈答品

三越はデパートメントストーアなれば、老若男女、あらゆる御方様の御贈答品を漏れなく取揃へて居ります特に三越の「商品切手」は御贈答品として御便利此上もなし。お正月も日一日と近づいて參りました。歳暮年始の御贈答品は此際是非三越より御求め下さる樣ひとへに奉願上候。

十二月一日より
玩具展覽會
膳椀茶碗食器新製品陳列會

十二月十日より
羽子板大賣出し

東京駿河町

三越呉服店

POPPŒA
高等化粧品製造所
PAPIER POUDRE, Ltd.
London, England.

英國倫敦パピーア、プーヅル商會製造化粧品は日英大博覽會に於て金牌を受領せり

ポピーア、ルーズ。は顏色を眞正のバラ色となし擦するも剝げず如何なる柔肌にも衞生上無害にして何時御使用あるも差支なし當商會は此外ポピーア、プーヅル。ポピーア、マツリンハイジーア。ポピーア、クリーム、プープル及其他の化粧品類一手製造販賣す日本一手販賣店横濱山下町七拾六番C

ベーリツク兄弟商會

最上醤油

於日英博覽會
賜名譽大賞牌

カギダイ

到る所の酒醤油店に販賣す

下總銚子港
釀造元 鶴屋吉兵衛

高尚優美 愛國帶

一筋 代價貳圓拾錢

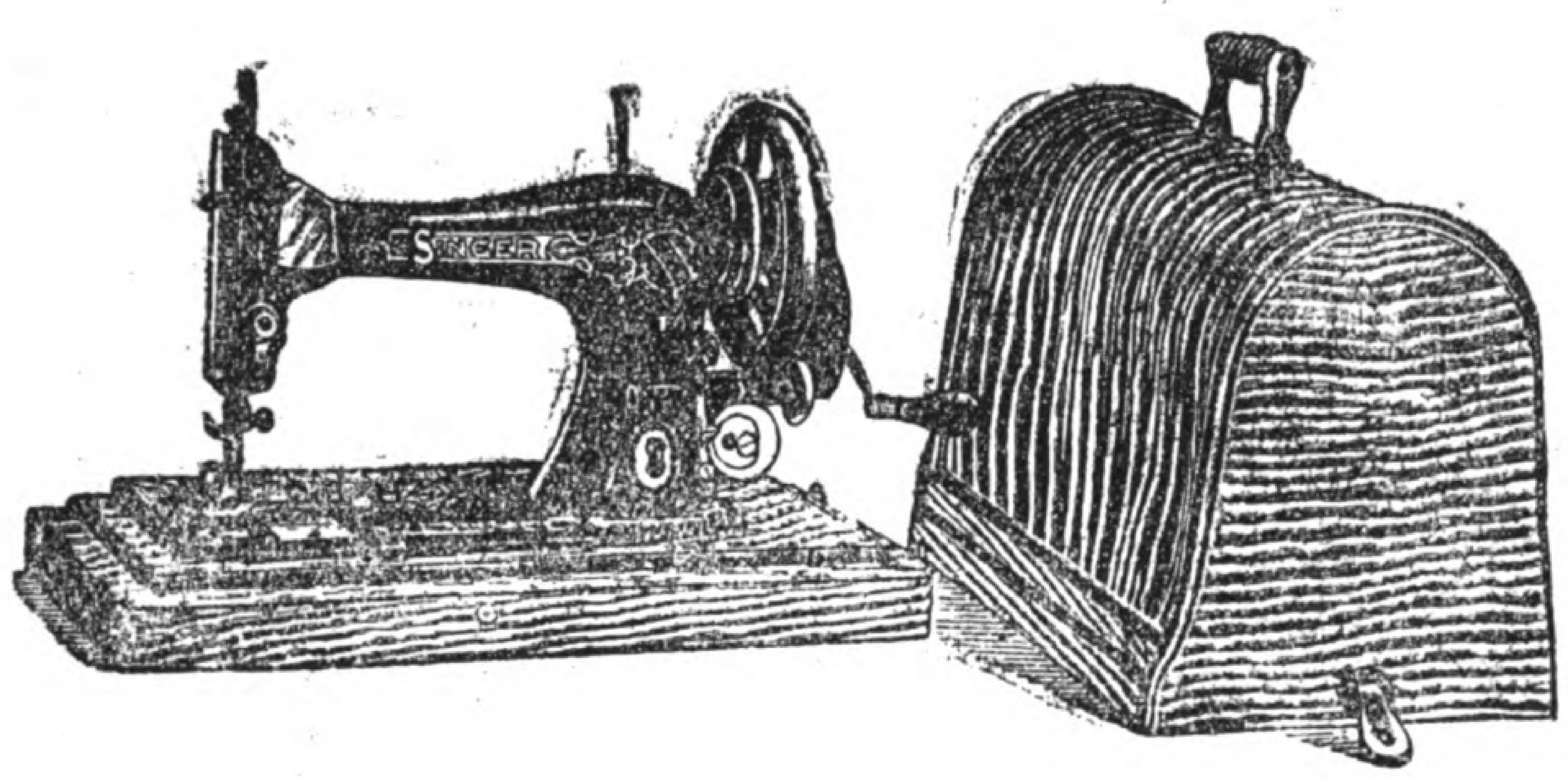
東京麹町區飯田町
愛國婦人發行所

未曾有の需用

此二三週間シンガーミシン二十八種
四號手廻形の需用者は實に未曾有でありました。

之れは裁縫機械は日本の家庭に必要品であることを信じ了解された事を充分證據立てゝ居りますと同時に最上等最格安のミシンである事をも證據立て居ります。皆様は家庭裁縫の全部出來る此ミシンを御求めになりましたか……

一日十錢



一日十錢

月參圓宛十七ヶ月拂ひ即ち一日に付僅か十錢宛でお求めになる事が出來ます

此割引價格の提供は何時撤回するかも知れませんから今直ぐに御最寄分店まで申込み下さらないと間に合はぬかも知れません……

無料教授、無料試用は御宅で出來ます

弊社の分店は

東京市京橋區銀座通（電新三四六六）
大阪市南區心齋橋筋（電南九九六）
横濱市馬車道通（電話三三五八）
京都市三條通り柳の馬場
名古屋市西區玉屋町
神戸市北長狹通り五丁目
廣島市細工町十二番地
仙臺市名懸町
福岡市橋口町
札幌區南一條西五丁目
金澤市下堤町三十五番地

横濱市山下町廿三番地
シンガーミシン會社
日本中央店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

半ゑり　帯揚　丸帯　帛紗　伊達巻　るい

京都京極四條角　京屋清

電一九三〇

實用新案特許

衛生「おしめいらず」

一號　六十錢
二號　五十五錢
三號　五十錢
郵送料　金八錢

▲此おしめいらずは裏表を白ネルにて仕立て其中なゴム引となしたるものなれば大小便の漏れたり又は滲出す事なく殊に取外し便利なる腹掛も附きおれば寢冷風邪等小兒に有勝ちの病氣を防ぐに特効あり旅行には携帯便利にして出產祝ひの御進物品として至極適當なり

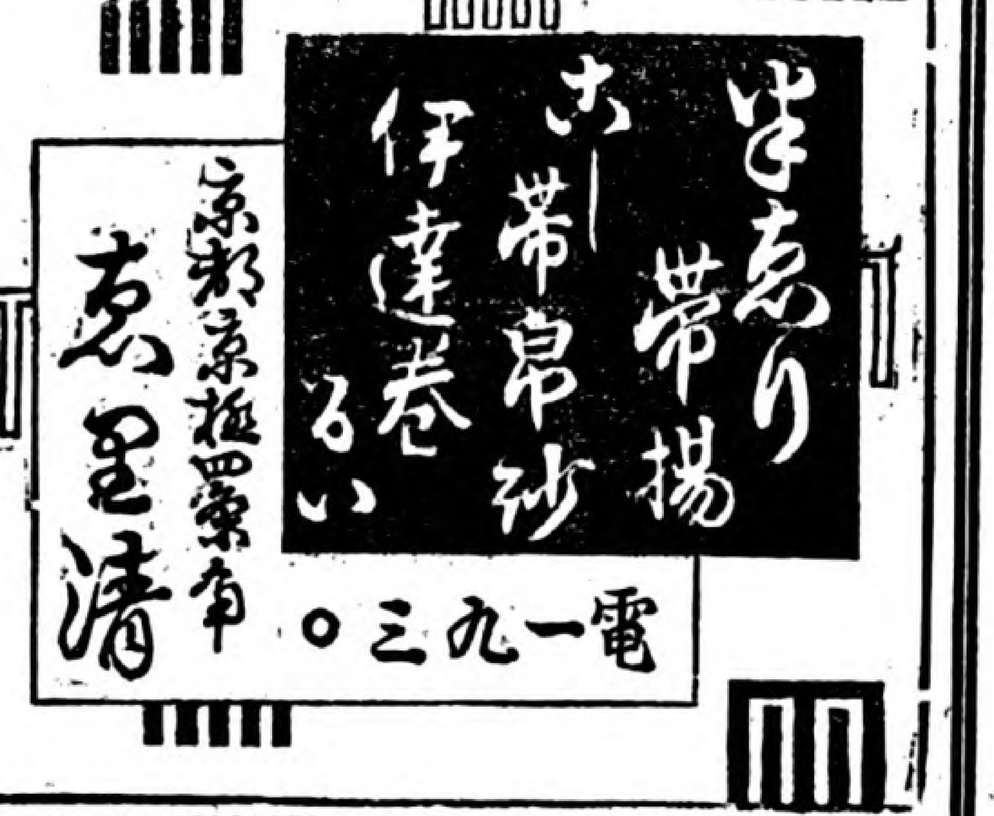
新案特許
出願中
安心月帯　一個金九十五錢

▲安心月帯はおしめいらずを別仕立になしたるものにて月經の時に之を使用せば立居に些かの粗相なく平時は圖の如く腹部のみ取外し腹卷とする便利あり夏の薄着に腹部の衛生に注意する方に極めて必要又洗濯には分解自由輕便なり

日本橋區村松町十二番地
製造發賣元　河善商店
（長電浪二二七九三番振替口座二三九一）

特約店　上野廣小路松屋いとう呉服店
京橋區銀座二丁目　發明館

右の外全國到處の洋物店足袋店にあり
△特約販賣希望の方は至急御申込あれ



名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり
定價　大二圓七十錢　中二圓廿錢　小一圓七十錢

御申越次第送呈仕候
說明書及商品目錄

東京日本橋區蠣殻町二ノ十五
名和商店
電浪一一七七番
振替一〇二五四
支店　神田和泉橋通り松永町十八

皆様

今日もまた
丈夫で元氣で
心から愉快に
「暮す様」

「ゼム」を
今すぐ
召上れ

到る所の賣藥化粧品店にあり

創立　明治九年
資本金　五百萬圓
積立金　參百參拾萬圓

東京市日本橋區小舟町
株式會社　第三銀行
電話浪花　長四四二　長五一　正七七七　四五六〇

監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
營業部長　清水虎吉

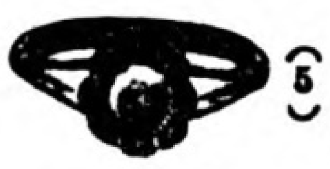
天賞堂製作品價格一斑

(1) ダイヤモンド入　十八金製價五十圓

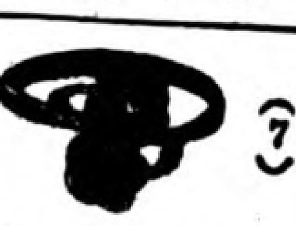
(2) ダイヤモンド入　十八金製價三百廿圓

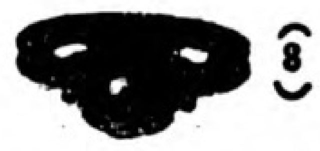
(3) ダイヤモンド入　十八金製價百二十圓

(4) ダイヤモンド、眞珠入　價百七十五圓


(5) 中肉眞珠入十八金製　價十五圓

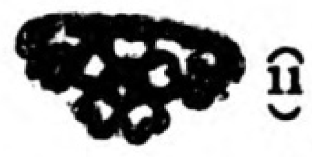
(6) 眞珠入十八金製　價十八圓


(7) 眞珠入十八金製　價二十圓

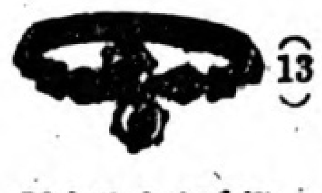

(8) 眞珠入十八金製　價二十圓

(9) ダイヤモンド入　十八金製價九百圓

(10) ダイヤモンド入　十八金製價百二十圓


(11) ダイヤモンド入　十八金製價三十圓

(12) 白サフアイヤ、ルビー入　十八金製價十圓


(13) 眞珠入十八金製　價十圓半

(14) 眞珠入十八金製　價十八圓

(15) ダイヤモンド、ルビー入　十八金製價廿八圓

(16) 色サフアイヤ入十八金製　價十四圓

(17) 眞珠入十八金製　價十五圓

(18) ダイヤモンド入　十八金製價四十圓

(19) ルビー入十八金製　價八圓五十錢

(20) 眞珠入十八金製　價三十圓

(21) ダイヤモンド、ルビー入　十八金製價百圓

(22) ルビー入十八金製　價十八圓

本圖は本堂諸工場に於て製作せる多數の指環中特に寶石嵌入の一班を掲げ大小形狀に據り概價の標準を知るの一助となせるものなり此他美術彫刻指環印面付指環等を始め貴婦人用として…根掛、簪、櫛、笄、腕環、襟針、釦留、帯締、羽織紐、時計鎖、同提物等に至る迄悉く現時流行の粹を抜き專ら品質の優秀と價格の低廉さを主眼とし以て斯界先覺の實を擧げんを期す冀くは愛顧諸君多少を問はず高需の榮を給はらんことを

天賞堂本店

東京市京橋區尾張町二丁目
電話新橋特長三三三。長三三四。長三一五三
振替貯金口座番號東京五五
大阪支店●東京神田出張所●橫濱出張所

此の足袋は當授產場に於て軍人戰死者の遺族及び廢兵家族の裁縫せしものにて、極上等の地質を用ひてあります故値段は安くも非常に丈夫で形も好く履き工合も宜う出來て居ります御同情の方は御求めの上御驗めしを願ひます
御披露の爲め本年內に御註文の方に限り市內は五足各地方は拾足以上左の價格にて御送り致します但朝鮮及臺灣は送料の半額を申受けます

足袋販賣廣告

東京市麹町區飯田町九段坂下公園
愛國婦人會東京支部授產場
電話番町一五二〇、一七四五
（郵便振替口座一五、一二四）

賣價表

品質＼文數	八文七歩 九文	九文三歩 九文半	九文七歩 十文
松印紺木綿 雲齋石底共	二十五錢	二十六錢	二十七錢
梅印紺木綿 石底	廿錢	二十一錢	二十二錢
松印白木綿 雲齋石底共	二十二錢	二十三錢	二十四錢
梅印白木綿 雲齋石底共	十七錢	十八錢	十九錢
松印白キャラコ 雲齋底	二十三錢	二十四錢	二十五錢
紺キャラコ 雲齋底	二十八錢	二十九錢	三十錢

右の外五文半以上十一文迄取揃へあります○ネル裏は一錢五厘増羅紗目なしは二錢増○紺コール天十文三十五錢紺瓦斯け三十三錢

飽まで浮華を避けて摯實健全たらんを期す

女學世界

●十二月號　正價金貳拾錢　郵税二錢

▼讀で味のある書物　棚橋絢子
▼樂天家の處世觀　松村介石
▼新婚旅行　内藤千代子
◎婦人病の手當　望月醫學士
◎異彩ある上古の婦人　物集文學士
◎生活主義と帶の模樣　並木秀
△お正月の飾方と儀式　笹木幸子
▽西洋の日常生活　中村春雨
▽西陣賃機織りの内情　初しぐれ
▽女中任にした失敗談　某博士夫人
▽暖爐と火鉢の注意　横手博士
▽日々の心の養ひ　後閑菊野
▽本年婦人界の回想　草紅葉
▽着物を作る心得　井上秀子

東京本町　博文館

口取　きんとん　よせもの　つけあはせ

日本橋區室町一丁目五番地(半丁)
上鶴
電話本局三七二番

小杉天外氏著　中澤弘光氏裝
闇ヲ行ク人
菊判三百餘頁　實價八拾五錢　送料八錢
東京　春陽堂

福地櫻癡氏著
櫻癡集
第二卷發賣
●みだれ燒、思ひ思ひ、山縣大貳、浮世見物、不平の掃溜、護持院ヶ原
特價壹圓　送料八錢

曩きに村井弦齋先生の賞讃を博し今又宮内省御買上の光榮を得たる
長電話浪花六二〇番　振替口座東京八七五番

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ
ラーローラ
BEETHAM'S La-rola
を愛用せざるべからず
此化粧用美容劑は冱寒々風硬水に堪る樣皮膚を保ち凍症、ヒビ、アカラ顔、アレ等を防ぐに最も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若々しくす四季を通じて用ふれば常に美しき細膚を保ち得らるべし
M. BEETHM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.
製造所　英國セルテンハム、エム、ビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

嫁入道具
京都高辻高倉
大伴タンス問屋
電一五八〇

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番　電話本局四九八番
定期預金　六ヶ月年五分
當座預金　百圓に付日歩七厘
特別當座預金　同日歩一錢一厘

最も力強き家庭の指導者
婦人世界
拾貳月一日發行　六卷　第拾四號
一冊價拾五錢　郵税二錢五厘　半年分郵税共一圓五十錢　一ヶ年分郵税共二圓五十錢

◎卅名士の未亡人……
◎我が國の人情美……弦齋
◎良人の病床に侍する記……鳩山春子
◎南洋の女王と稱する日本婦人……朝倉文夫
◎嫁入道具の今昔……宮崎半七
◎私が初めて見た日本……馬來夫人
◎私の見た非常識な婦人……名士數名
◎去年の婦人界を思ふ……下田歌子
◎子供の兄弟喧嘩の仲裁……高島
◎京都の婦人と東京の婦人……棚橋絢子
◎清國の革命戰爭實記……阿部春子
◎小兒の看護法……藤博士
◎流行春着新調……島雪子
◎女店員の裏面……うづまき

發行所　東京京橋區南紺屋町二十番地　實業之日本社　振替貯金口座三二六番

京染悉皆
何處までも弊方より送料は負擔しますから染場と同じ安い工賃です
詳細は御照會被下度早速御返報申上ます
地方直取引輕便廉價
營業案内送呈
一、美術模樣入各種染
一、本檳榔子黑染
一、友禪染
一、小紋染
一、堅牢諸色染
一、各種旗染
一、古物染替悉皆
其他染物一色
京都市油小路通五條上ル
野村萬次郎商店(振替口座大阪九四八六)

銀座一丁目河岸通(電話京橋八二五 八六)
帝國貯蓄銀行
飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表一丁目
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神樂坂支店　牛込神樂坂上
吾妻橋支店　淺草雷門前
須田町支店　神田須田町
米澤町支店　兩國米澤町
品川支店　南品川一丁目
横濱支店　横濱吉田町
代理店　日本橋坂本町田中銀行
●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱ふ●毎月五日迄の御預金には全月分の利子を付すべし

歳暮御進物勅題柄色々
ゑり善
(東京日本橋堺町通りふきや町電浪一二七〇番)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案内

神田區

内科橋田病院（錦町三丁目電車停留場側）
●隔離室設備（診察午前 入院隨時）
院長 醫學士 橋田茂重
病院 神田錦町三ノ一九（電本二三三九）
自宅 牛込甲良町一二（電番一一九六）

東京神田區美土代町三丁目十七番地
内科一般 午前宅診 午後往診 板垣亨
電話本局貳千九百七拾番

入院診斷後應
松田、林、蜂間、三副長は目下當院に在勤
（電本）八八八八（病院用）、八九八八（私宅用）
東洋内科醫院
東京市神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋南
院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里
電話ちがさき二番
南湖院
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
但院長渡歐中副長代理す

小兒科
神田區元柳原町四十番地（須田町或ハ和泉橋ヨリ約一丁）
醫學士 尾形茂樹
電話本局三六三六番

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士 榊田義衛
電話本局三二一九〇

芝區

◎產科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

齒科診療
每日自午前八時至午後五時（但シ十五日廿八日休診）
芝區烏森町一番地
石川齒科醫院
電話新橋一九二〇

京橋區

◉院長ドクトル木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話京橋一六七〇）
婦人科產科
木村病院

日本橋區

婦人科
產科
乳兒科
神田區材木町二十三二十四番地
醫學士高橋政秀
電本三七八九番

濱町病院
日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
產科 婦人科
院長醫學士小林八十七
醫學士大瀨貴明
醫學士佐野綱次郎

◎内科診療 入院隨時
午前宅診 午後往診
日本橋區松島町（松島稲荷前）
醫學士 竹村正
電浪三七六六番

淺草區

内田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士内田慎太郎
（午後診察）副院長醫學士瀧原五郎
電話（下谷七二八事務用）（下谷四八三八病室用）

府下

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

本郷區

…（診察時間）…
○產科、婦人科 入院應需
月、水、金午前 橋爪病院（浪花二六〇番）（日本橋區龜島町一の廿九）
每日二時ヨリ五時迄 自宅（下谷二四八七）
本郷區眞砂町十五番地
醫學士 橋爪哲造

赤坂區

小兒科
赤坂區、溜池、榎坂町一番地
岡部環
電話芝三七九九番

小兒科
赤坂區青山南町三丁目
醫學士 石塚保吉
電話芝三四七四番

腦神經精神病
東京赤坂 青山病院内
帝國腦病院
院長ドクトル醫學士 藤紀一
別 在獨逸 醫學士 望月溫象
田澤醫學士
特電芝二七四五 電芝二六六五 電芝三四〇六

麴町區

產科婦人科小兒科
鷲山改姓 女醫吉岡彌生
診察院長 每日八時より
時間醫員 每日三時より
病室及產室の設けあり入院隨時
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院 電話番町二二五七

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麴町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士 中山敏樹

醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
醫學士 久保德太郎 日曜水曜午後 婦人科的外科
醫學士 田代謹二 火木土曜日午後 泌尿器病及内科
醫學士 石塚保吉 水土曜日午後 小兒科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦產婦ヲ取扱フ
婦人科產科 榊病院
麴町區三番町三三（電話番町三〇三三）

小石川區

○婦人科○產科
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

◎產科 婦人科
◎内科。小兒科
小石川西江戸川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

牛込區

產科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

下谷區

產科婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長（入院隨意）醫學士 天本治
（電話下谷二六六九）

四谷區

小兒科醫院
本院 四谷區西信濃町十四番地（電話番町八七四）
宅診午前中 入院應需
院長 醫學士 川村正治
副院長 醫學士 川村信一
分院 芝區西久保巴町四十五番地（電話芝二〇八六）
宅診自午後二時

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂 特阿彌

皮膚 梅どく りん病 わきが 生殖器諸病 ぢ
東京淺草瓦町廿八 朝八時より九時迄
中央醫院

皮膚諸病 梅どく りん病 消渇 田蟲 ぢ 等症
血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人
色の黒き人 にきび そばかす あれ
生殖器諸病 神經衰弱症
遺精 早漏 陰萎 發育不充分 記憶力減衰 歩精
わきが
▲病狀を記し郵劵四錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特效新藥說明書を送る
東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場横
中央藥院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

●橋本 救世丸と胃腸病

赤十字院長 橋本子爵

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず全治す、最强の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有効なり、卓絶なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

●岩佐 壯婦丸と婦人病

宮内省侍醫 岩佐男爵

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣鬱動氣、逆上、腰痛、產前產後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、秘便、神經衰弱等には男女共に偉効あり

○救世丸壯婦丸は愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下を始め奉り各宮殿下の御嘉納あり又た陸軍省兩本願寺等の御用藥として我國有史以來未曾有の名譽を辱ふしたる此の一事を以て尋常一般の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證す得べし

○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參拾錢壹圓八拾錢○効能書贈呈

○本劑は本舖又は愛國婦人發行所に於て會員諸君には一割引にて御取扱申可候

本舖 東京深川公園 合資會社 福井堂 電話長浪花五六九番 振替東京二三六六番

專賣特許 吹留眞綿製作品

衣裳中入用として使用輕便且德用なるは吹留眞綿なり

定價 輕目 六拾八錢 並目 八拾錢 重目 九拾五錢

優美なる眞綿製作品

防寒用として肌さはり最もよきは日本國產眞綿にて製りたる當所製作品にまさるものなし

定價 薄製肌着 貳圓五拾錢 チヨッキ 壹圓五拾錢 腰卷 壹圓六拾錢

各地各呉服店及綿問屋にて販賣致居候

京橋銀座四丁目停留所前 大和屋綿店 電京一七七六

麻布本村一九〇 吹留眞綿販賣部 電芝三五五八

模造品所々に有之候登錄商標に御注意乞

めづらしき オモチヤ

教育玩具 年末年始 御進物用玩具 御用の節は

東京銀座三丁目 伊東屋玩具店 電話京橋二五二三 口座二〇四四五

●東洋一 製造大販賣 卸し小賣

◎夜具蒲團類 綿ざぶとん

●街鐵・外濠・小川町東明館前に下車を乞ふ

諸官省御用 （や） 神田表神保町二 矢田本店 電話本局二〇一八番 市内無賃配達

●階上 縦覽御隨意 珍柄高等品澤山有り

●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

●●十二月の卷發行●●

新婦人

第一年第九號 定價 一冊二十八錢郵税二錢五厘 六冊前金壹圓七拾錢郵税共

繪畫寫眞版概目

頭の雪 油繪極彩色 四十四年掉尾の名畫……川村清雄筆

舟の醉 美人舷頭に立ちて芳雪香しく溫柔玉の如し……山中古洞筆

物思ひ 佳人愁思を帶び暗涙衹上に殞つ……コロタイプ寫眞

東伏見宮妃殿下 松平子爵令嬢 隆子姫照子姫 眞宗高田派の新法主夫人ふみ子 方同令嬢敎子姫

嫉妬不用論 著者大倉夫人の 閨秀作家 神崎恒子女史●水野ゆう子嬢●濱野りよ子嬢●齋 林原高子女史●御園生はる子嬢●杉山寬氏夫人●小川一雄

藤法善氏令嬢君枝子嬢 清國革命軍女俠

氏夫人 女優東日出子嬢●佐藤はま子嬢 哥澤振家元柴雪子嬢●松平海軍大尉夫人●

文藝協會女優高野千歳嬢 藝妓より見たる戀愛 觀察者寺島屋 小雛 其他數百

新婦人清遊會は加何に破天荒の大盛況を呈したるか會員も會員外も本誌を一讀せよ

異性の愛の研究 筆者の如何に各方面に渉れるかを見よ

大隈伯●大倉喜八郎氏 大倉くみ子君●成瀬女子大學長●須藤博士●藤井浪子●水野仙子●鹿島鉞子●竹本朝重●平岩博士其他數十家

附錄 家庭日記 十二月分 ●溫度表●晴雨表●獻立表●來客簿並に九星舊曆附

見本 郵券卅錢

賣捌所は全國著名の書林雜誌店●●

發行所 東京市本郷區龍岡町 振替東京三〇五八番 聚精堂 電話下谷一六七二番 電話下谷四〇七九番

東髪前髪心 新案特許 パリーみやげ 美人印 ヘーヤロール

本品の特長 第一目方は極めて輕く形の久しく崩れずして堅牢なる事他に類なし

目方 大一尺五寸 三匁五分 中一尺二寸 二匁五分 小一尺 一匁五分

東京市神田區豊島町 コロップかもじ製造元 田中金三郎

○全國到る處の小物店にあり（振東一八一八八）

シモンクレーム

羽二重のように滑かに、薔薇の如く美しく、色を白くし艶をよくする

美顔用『シモン、クレーム』

三越呉服店を始め各地有名なる和洋小間物化粧品店にあり

日本代理店 横濱市山下町廿三番地 エー、ハイム商會

（佛國シモン會社製品）

神田三河町一ノ一九 博報堂

京橋區宗十郎町一七 正路喜社

愛國婦人海外廣告一手取扱

京橋區南槇町七 大興社

京橋區南紺屋町一 一星社

神戸市元居留地仲町三八 東洋廣告取次會社

神田須田町廿七 金蘭社

京橋區廣告社

明治四十四年十二月一日發行（毎月二回一日、十五日）（定價金三錢五厘 一ヶ月金七錢 郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）編輯人 竹内貞三 發行兼印刷人 山澤俊夫 ●發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所 ●電話番町千七百四十五番 ●同五百二十番 ●印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所 ●振替貯金口座東京壹壹三八一番